

第3回 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

日時：2025年10月2日（木）15:00～17:00
場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2階

次 第

1. 開会

2. 議題

1) 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会設置要綱の改正について

3. 報告

- 1) 前回議事要旨について
- 2) 令和7年度取組内容について
- 3) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について

4. 閉会

○配布資料

- ・沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会設置要綱 資料1
- ・前回議事要旨 資料2
- ・令和7年度取組内容 資料3
- ・沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案） 資料4

(設置)

第1条 沖縄市胡屋・中央地区における交通結節点及びその他周辺整備等（以下「沖縄市交通拠点まちづくり」という。）に係る沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）（以下「基本計画」という。）の策定にあたり、専門的な知見等から幅広く意見聴取を行うことを目的として、沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、「沖縄市交通拠点まちづくり」について、様々な観点から検討及び協議し、意見を述べるものとする。

(委員会構成)

第3条 委員会は、市長が委嘱し、又は任命する委員をもって構成する。

- 2 委員の任期は、委嘱又は任命された日より沖縄市交通拠点まちづくりに係る基本計画の策定までとする。
- 3 委員会は別表に掲げる委員をもって構成する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長と副委員長を各1名置き、委員の互選でこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 会議の議長は、委員長をもって充てる。
- 3 委員長は、必要があると認めるときには、委員会の会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聞くことができる。
- 4 委員会の会議は、原則公開とする。ただし、委員長は、公開することにより公正かつ円滑な会議運営に著しい支障が生ずると認められるなど、特別な理由がある場合には、非公開とすることができます。
- 5 委員長は、やむを得ない理由により委員会を開くことが出来ない場合において、事案の概要を記載した書面を委員に配布し、その意見を徴することができる。

6 前項の規定により意見を徴した場合、委員長が次の委員会において報告しなければならない。

(代理出席)

第6条 委員がやむを得ず出席できない場合であって、市長が必要と認めたときは、委員は代理出席者を会議に出席させることができる。

(基本計画の策定)

第7条 市は、基本計画の策定にあたり、委員会で聴取した意見を十分に考慮するとともに、基本構想に反映させるよう努めるものとする。

(検討部会)

第8条 委員長は、必要に応じて検討部会を設置することができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、沖縄市建設部都市整備室都市交通担当において処理する。

(補則)

第10条 この要綱に定めるものほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和6年10月2日から施行する。

この要綱は、令和7年 ●月●日から施行する。

別表

分類	役割	所属	役職
学識者	委員	琉球大学	名誉教授
	委員	琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース	教授
	委員	<u>埼玉大学大学院理工学研究科 環境科学・社会基盤部門</u>	教授
市民・ 利用者	委員	胡屋自治会	会長
	委員	センター自治会	会長
	委員	中の町自治会	会長
	委員	N P O 法人 まちづくりNPO コザまち社中	理事長
	委員	社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会	事務局長
	委員	一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	会長
商業 関係者	委員	沖縄市一番街商店街振興組合	理事長
	委員	沖縄市サンシティ商店街振興組合	理事長
	委員	沖縄市センター商店街振興組合	代表理事
	委員	コザゲート通り会	会長
	委員	コザパルミラ通り会	会長
	委員	胡屋大通り会	会長
	委員	<u>コザ商店街連合会</u>	会長
	委員	合同会社イドムス	代表社員
	委員	沖縄商工会議所 中小企業振興部	部長
交通 関係者	委員	一般社団法人 沖縄県バス協会	常勤顧問
	委員	沖縄バス株式会社	取締役運輸部長
	委員	東陽バス株式会社	運輸部部長
	委員	株式会社 琉球バス交通	代表取締役
	委員	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	事務局長
行政	委員	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課	課長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課	課長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室	室長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所	副所長
	委員	沖縄県 企画部 交通政策課	課長
	委員	沖縄市 企画部	部長
	委員	沖縄市 建設部	部長
	委員	沖縄市 経済文化部	部長
オブザーバー	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所 管理第2課		課長
	独立行政法人 都市再生機構九州支社 沖縄まちづくり支援事務所 まちづくり支援課		課長

第2回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会

日時：令和7年3月25日（月）14:00～16:00
 場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2階

(1) 議事まとめ

発言者	内容
琉球バス	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄市の文化であるエイサーが出来る広場があると良い。
センター自治会	<ul style="list-style-type: none"> 残地活用についてまち側の検討が必要である。建物除却のスケジュール感等共有が必要である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> すーじーと広場はセットであることで魅力が高まることから、これらに留意して取組を進めてほしい。 交通結節点が道路を挟んで両側になるが、結節点を結ぶ工夫として、単純な横断歩道橋ではなく、シンボリックなデッキとする必要があるのではないか。
コザまち社中	<ul style="list-style-type: none"> まち側の老朽化が深刻化しているため、事業スケジュールや検討状況について共有が必要である。
沖縄総合事務局 南部国道事務所	<ul style="list-style-type: none"> 胡屋来訪者は地域のコンテンツがわからないという意見があるため、コンテンツの発信も含めて検討してはどうか。

(2) 議事要旨

1. 開会
2. 報告 1) 前回議事要旨

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事要旨についてご意見あるか。 	<p>(一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし。

報告 2) 令和6年度取組内容について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球バス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 胡屋らしさとして、沖縄市ではエイサーが文化として根付いていることから、エイサーもできる空間が広場としてあると良いと考える。 ・ バスタ、バスターミナルは法制度上厳密には異なるため、呼び方を統一したほうが良いのではないか。 ・ 循環バスについて、どのバス停からの乗り降りが多いのか、どこのバス停なら連携が可能なのかが分かれば教えて頂きたい。循環バス事業に関わっているため、連携が出来ればよいと考えている。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エイサーは沖縄市の特徴であるため、広場の創出に向けてご意見踏まえて検討を進めていきたいと考えている。 ・ 市民へ分かりやすく説明するためバスターミナルという言葉を使用していた。今後、事業との整合を図るため統一させていただく。 ・ 本資料の分析では、出発地から到着地の移動需要を示しており、移動手段別、バス停別での利用状況が分かるものではない。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄市観光物産協会	<ul style="list-style-type: none"> 本検討委員会資料ではバスター ミナルの検討がない。バスター ミナル自体は別の検討委員会での議論となっているのか。 交差点改良事業により建物除却が始まっているが、これらの進捗とバスタ事業との関連性について教えて頂きたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> バスタ事業の推進にあたり、沖縄市の役割分担では、バスター ミナル周辺のまちづくりとなっ ている。バスター ミナルについ ては国の方で検討を進めている が、しっかりと連携しながら進 めていきたい。 <p>(南部国道事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路改良事業はバスタと別事業 で推進している事業であり、用 地買収含めて進められているた め、バスタ事業とタイムラグは 生じてしまう。バスター ミナル の機能検討について市、県とも 連携しながら、事業間の連携に ついてもできるだけ検討してい きたいと考えている。
センター自治会	<ul style="list-style-type: none"> 残地活用についてまち側も検討 が必要と考えている。交差点改 良事業による建物除却のスケジ ュール感を可能であれば教えて 頂きたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 残地活用については市も状況を 把握している。土地の所有者の 話も聞きながら検討していきた いと考えている。民有地は市単 独で活用方法を判断するこ とができないためどういったやり 方があるのか検討していきたい。
沖縄商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 残地活用について、民有地は難 しいという回答であったが、広 場整備などを地域で対応しよう とする場合の助けとなる補助制 度等は検討されているのか。 地域から声が上がってきた場合 はバスター ミナル整備があるこ とを事前に伝えていきたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助制度については現時点では 検討していない。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 様々な検討があるが、広場もポイントであると考えている。沖縄ではすーじーが魅力であるが、広場とセットであることでより魅力が高まるものである。魅力を高める広場とすーじーについてもどこに創出していくのか、今後整理して頂きたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえて、検討していきたい。

3. 議事 1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
一番街 商店街	<ul style="list-style-type: none"> 広場の重要性の整理がされているが、基本計画のどこが対応しているのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「歩きやすい歩いて楽しい道路空間の構築」の中で近い形で触れているが、広場機能としての記述はないため今後検討していきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 広場を一面的に整備することを検討するということではなく、広場は場所によって大きさも機能も変化するものであることを踏まえ、まちの中にちりばめる形が良いと考える。 沖縄市の特徴として看板が挙げられる。広場と組み合わせて取り組んでいただけたらと考える。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 法的な許認可（屋外広告物条例等）も含めて今後検討していきたい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> パークアベニューについて、資料3、8pにある丸の内中通りのような空間を目指す必要があるのではないか。 国際通りのトランジットモールのように、時間帯によって車道空間の使い方の工夫もあるのではないか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえて、検討していきたい。
胡屋 大通り会	<ul style="list-style-type: none"> 胡屋中央地区バスターミナルと記載があるが、地域への説明はこの文言で話した方が良いのか。 バスターミナルの配置について、那覇向け、うるま向けの両方で検討されているのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民へ分かりやすく説明するためバスターミナルという言葉を使用していた。今後、事業との整合を図るため統一させていただく。 昨年度委員会にて、那覇方面、うるま市方面併せて検討していくことで合意を得ている。
沖縄 商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携について具体的な検討項目があるのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的はないが、包括協定を結んでいるため、今後連携を見据えて検討していきたいと考えている。
沖縄市観光 物産協会	<ul style="list-style-type: none"> ウォーカブルな空間創出に向けて、コザゲート通りの店舗が基金を活用して店舗前の休憩スペースを整備されるなどの取組が進められている。 道路空間の活用にあたり、清掃などの負担を地域にだけ押し付けない仕組みづくりを考えて頂きたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰かに押し付けるのではなく、みんなで好きになるような通りになるよう取り組んでいきたい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 国道を横断させるための工夫について、単純な横断歩道橋ではなく、イベント開催が可能なシンボリックな横断デッキの整備を基本計画に盛り込めないか。 アイディアベースになるが、地下街というのも考えられる。地価とすることで将来の鉄軌道地下駅が出来た際の連携も可能となる。 	<p>(南部国道事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上下線両方整備するか、横断歩道でどう結ぶかについては検討していきたい。なお、交差点改良事業とバスタ事業は別であるため、計画に盛り込めるかどうかも含めて検討したい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した整備に向けて一体感をどうするか対話しながら進めていきたい。
沖縄県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> バスタ整備について、那覇方面は国、うるま方面橋の整備となるのか。 	<p>(南部国道事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> いずれも国による事業になると見える。必要性については今後検討していきたい。
コザまち 社中	<ul style="list-style-type: none"> 商店街周辺は建物の老朽化が深刻化しており、バスター・ミナル整備のスケジュール感とはあっておらず、まち側は期待半分、不安半分の状況である。まち側に対して検討状況について情報共有が必要と考える。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域からも情報共有が欲しいと以前から意見をいただいている中で、会合などに参加させていただいていた。今後はエリアを広げて商店街全域の方々へも共有できるような仕組みを構築していきたい。
沖縄総合 事務局 南部国道 事務所	<ul style="list-style-type: none"> 胡屋への来訪者向けにアンケートを実施したところ、どんなコンテンツがあるのかわからないという意見があった。地域も含めてコンテンツの発信も基本計画に含めてはどうか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と連携して取り組めるよう検討していきたい。

第3回 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

令和7年度取組内容

令和7年10月
沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

1. 沖縄市交通拠点整備基本構想策定後の取組状況
2. 業務目的及びスケジュール
3. 実証実験

1. 基本構想策定後の取組状況

沖縄市

- ・ 基本構想策定以降、令和6年度から沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の策定に向けて、まちづくり検討委員会、検討委員会の部会となる地域デザイン検討部会を重ね、地域のまちづくりの視点で議論を重ねている。
- ・ 平行して、機運醸成の取組みとして、地域住民などを対象とした講演会・まちあるき・WSの取組みも進めるなかで意見収集を行うとともに、大学研究機関等による講演会、調査研究、特別講義などの活動を活用して様々な知見も収集している。

沖縄市交通拠点整備基本構想(R6.6)

「沖縄市交通拠点まちづくり」について、様々な観点から検討及び協議

R
6
年
度

R6第1回まちづくり検討委員会

(R6.10)

- ・交通拠点まちづくりの検討の概要
- ・社会実験

R6第2回まちづくり検討委員会

(R7.3)

- ・交通拠点まちづくり基本計画(骨子)

交通拠点が地域に根ざした拠点となるよう、歴史、文化、生活などの多様な視点から機能やデザインを検討

地域デザイン検討部会準備会

(R6.11)

機運醸成および合意形成手法

大学研究機関等の活動

R6第1回地域デザイン検討部会

(R7.1)

- ・地域デザインの展開方針(素案)
- ・デザインコード(素案)

機運醸成等の取組み

講演会・まちあるき・WS(R7.2)

- ・居心地のよいまちづくりの取り組みについて講演とWS

計画・交通研究会

主催講演会(R6.7)

- ・講演会、WS

東京大学研究発表会(R7.3)

R7第3回まちづくり検討委員会

(R7.10)

- ・交通拠点まちづくり基本計画(素案)
- ・まちづくりから考える交通結節点に必要な機能(素案)
- ・実証実験(案)

R7第3回地域デザイン検討部会

(R7.10)

- ・デザイン検討の考え方
- ・パブリックスペースの方向性(素案)
- ・実験計画(案)
- ・まちづくりから考える交通結節点に必要な機能(素案)

機運醸成等の取組み

講演会・まちあるき・WS(R7.9)

- ・広場を考える 講演会・まちあるき・WS

琉球大学特別講義(R7.8)

- ・座学、まちあるき、現地調査、ワークショップ

R7第4回まちづくり検討委員会

- ・沖縄市交通拠点まちづくり基本計画策定

R7第4回地域デザイン検討部会

機運醸成等の取組み

実証実験(R7.11)

- ・広場空間創の実証実験
- ・交流拠点の実証実験
- ・賑わい創出の社会実験(夜間バス)

沖縄市交通拠点まちづくり基本計画策定（予定）

R
8
年
度

計画の推進に向けた継続的な取り組み

2.業務目的及びスケジュール

沖縄市

(1)業務目的

- 本業務では、地域住民や関係権利者等と引き続き**合意形成や機運醸成**を図りつつ、基本構想で位置付けた施策の具体化に向けて、関係機関との協議を踏まえ**「交通拠点まちづくり基本計画」を策定**し、交通拠点まちづくりに向けての**手引きとして取りまとめる**ことを目的とします。

検討項目	令和6年								令和7年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1)計画準備		→									
(2)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進											
(3)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施											
(4)交通拠点まちづくり基本計画の作成											
(5)検討委員会、庁内連絡会の開催											
(6)報告書等の作成											
国(胡屋地区交通結節点整備検討委員会)と連携					■				■		
県(地域公共交通会議、活性化推進協議会)と連携					■				■		

(2) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

【1】デザイン検討部会の開催】

- ・交流機能やまちなか交流拠点のコンセプトを整理し、WGメンバーより意見を頂くことを目的に部会を開催。

【2】交流機能の検討】

①広場空間の調査

- ・交通結節点における交流機能としての広場空間の導入にあたり、交流拠点まちづくり基本計画検討範囲における公園等の位置付けを整理するとともに、道路拡幅の用地買収等による残地、バス夕から500m圏の既存の公園・緑地を対象に広場空間の調査（現況把握）。
- ・広場空間の調査では、将来の広場空間検討及び残地活用検討に資する基礎情報の収集、また、国総研の「新たなまちづくりの担い手のための広場づくりの手引き（案）」を参考に「立地・空間の特性」を把握し、カルテ形式で取りまとめ。

<カルテ記載内容（案）>

・位置図・拡大図	・位置付け(都市計画マスタープラン・地域防災計画等)	・施設・設備
・現況写真	・用途・土地利用（公園・緑地、残地（空き地）等）	・その他関係する視点(調査時の利用実態、問題点、ポテンシャル等) 等
・広さ	・立地・空間の特性	
・所有者（国・県・市・民間等）	・機能(滞留・遊び・サービス(情報提供等)・防災等)	

2.業務目的及びスケジュール

沖縄市

(2) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

【2）交流機能の検討】

②広場のコンセプトや機能の検討

- **広場の機能・役割（防災、交流、滞留、モビリティハブ、情報発信等）の事例調査**を行い、これと①での調査内容、他業務で実施が予定されている**バス利用者アンケート結果**、昨年度の**社会実験のアンケート結果と基調講演（居心地が良いまちにするための7つのルール）**・**ワークショップ、デザイン部会の意見**を踏まえ、コンセプトや有効性を検討。
- 広場の立地特性や隣接地との関係性等も考慮しながら、バスタに付随する広場として**望ましい機能や配置、平常時・災害時の空間活用について検討**。

③残地を活用した広場の検討

- ①②を踏まえ、各フェーズにおける残地のあり方（活用・空間）を検討。

空間特性	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
概念図	・建物に囲われた限定期的な空間として残地と民地が発現	・残地と民地が国道沿いに連続 ・建物裏側が連続的に国道に面する	・国道と商店街側がつながり、商店街との空間的連携が可能
活用方針	緑の空間+休憩スペース+情報発信+イベント活用等	フェーズ1+国道に対して表（顔）をつくりだす活用+防災	フェーズ2+商店街側への抜け、商店街の店舗を表にした配置等の配慮
空間方針 (整備方針)	人工芝・プランター・テーブル・イス等	フェーズ1+コンテナ・防災倉庫・サイクルポート+情報案内板等	フェーズ2の設備を国道と商店街をつなぐ配置に転換

全面整備・活用

2.業務目的及びスケジュール

沖縄市

(2) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

【2】交流機能の検討

④実証実験の実施

- ①②③を踏まえ、広場（残地活用）に関する実証実験を実施し、効果測定。実施にあたっては、ワークショップ参加者が自分事として活動できるような場の提供、大学の授業や研究室のアイディアの反映、**地元等の主体的な参画等、官民学が連携した体制で実施。**

活用地	・フェーズ1の残地 (胡屋北交差点隅切り用地 /建物解体後用地)	実施時期	・10~11月の休日・1日程度 ・地元のイベント時や沖縄アリーナでの試合に合わせる等、集客の見込める日程を設定
実施内容	・ワークショップ参加者や学生と連携しながら、居心地の良い居場所となる空間づくりや朝の活気を引き出す取組（昨年度のワークショップ意見）等を実施	・実証実験時のイベント的な活用だけでなく、残地の継続的・積極的な利活用につなげるため、地元や学生等と連携した準備・備品確保・当日の運営を想定 ・キッチンカー等による誘客も促す	
効果検証 (オーブンパウス)	A)来場者アンケート B)運営者アンケート	・基本属性・実証実験で創出した空間等に対する満足度・実証実験時の空間にあつたら良いモノ等の改善案 等 ・A)のアンケート内容+今後の実証実験の運営への参画の意向、今後の実証実験の運営等に加えたらいいと思う団体・人 等	
課題の抽出	・今後に向けた課題の抽出	・上記の実施内容及び②広場のコンセプトや機能の検討を踏まえ、今後の実証実験に向けた課題を抽出	

(2) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

【3】まちなか交流拠点の検討】

①関係者ヒアリングの実施

- まちなか交流拠点に関わることが想定される官民学それぞれキーマンとなる関係者へヒアリングを実施。

関係者（案）	ヒアリング内容（案）
琉球大学 地域連携推進課	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括協定を活かした大学との連携手法について調整 (※2018年に沖縄市と琉球大学で地域包括協定締結)
コザ商店街連合会 イドムス	<ul style="list-style-type: none"> ②コンセプトの検討、③実証実験の実施にあたり、地域のニーズ把握、実施体制の構築、運営手法等の調整
コザまち社中	<ul style="list-style-type: none"> 残地（民地）へのアプローチに関する相談
沖縄市 経済文化部 商工振興課	<ul style="list-style-type: none"> ②コンセプトの検討、③実証実験の実施にあたり、行政側のニーズ把握、実施体制の構築、運営手法等の調整、助言等
沖縄総合事務局 開発建設部 南部国道事務所	<ul style="list-style-type: none"> 残地（国道用地）の活用に関する調整
東京大学 羽藤教授 (地域デザイン検討部会長)	<ul style="list-style-type: none"> ②コンセプトの検討、③実証実験の実施にあたり、全国の知見を活かした助言

(2)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

【3）まちなか交流拠点の検討】

②コンセプトの検討

- まちなか交流拠点の実現に向けて、交流拠点の有効性やコンセプト、実施体制等を検討。
- 検討にあたっては、全国でアーバンデザインセンターに関する知見を有する東京大学羽藤教授の助言を頂きながら検討。

③実証実験の実施

- ①、②の検討を踏まえ、実証実験及び効果測定。
- 実証実験に向けて、まちなか交流拠点となる場所を胡屋・中央地区内から選定し、官民学が連携可能な空間を創出します。まちづくりに関する様々な取組を検討し、実行できる体制構築を目指す。
- 大学生によるまちづくりへのアイディアを、「交流機能の検討」の残地活用や実証実験へ反映する等の連携も検討。また、大学生のまちづくりへの関心を高めるための取組も検討。

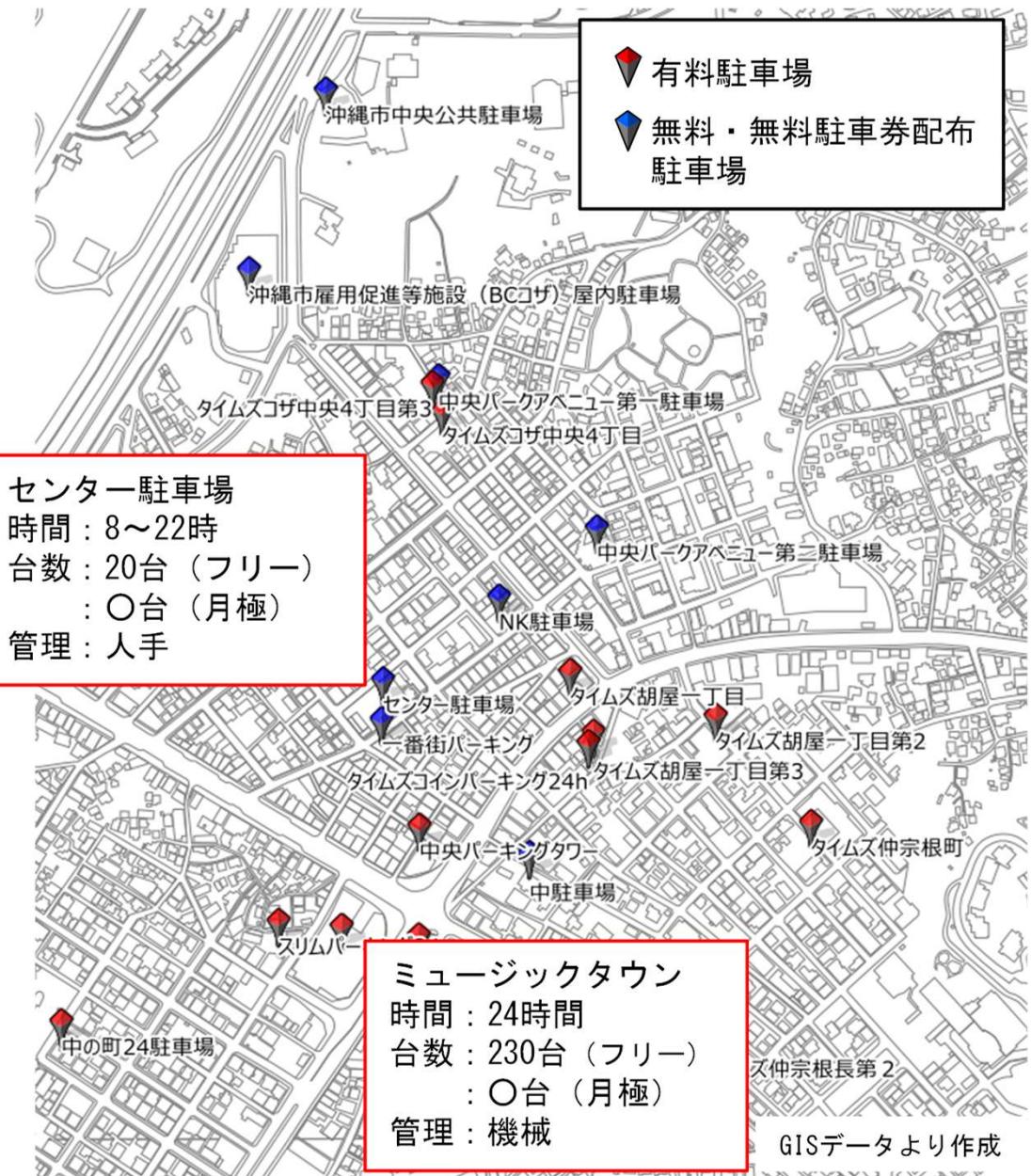
2.業務目的及びスケジュール

沖繩市

(2) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

【4】駐車場機能の検討】

- 胡屋・中央地区における既存駐車場の現状調査（駐車台数、規模、時間帯、場所等）を行い、交通拠点の駐車機能として、活用可能性のある適地を整理し、バスタ周辺の駐車機能を整理。



(3)交通拠点まちづくり基本計画の作成

- 基本計画（素案）で整理した取組、スケジュール、役割等の更新にあたり、関係機関から適切に意見収集できるよう、意見収集シートを事前配布し意見を収集します。収集した意見を踏まえ、必要に応じて個別ヒアリングの実施。

(1) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

■ 講演会・ワークショップ

- 「まち歩き」「講演会」「ワークショップ」を一体的に実施した。2)④の実証実験と連携しワークショップの意見を試行するフィールドを用意することを検討。



Event details:

- 講師: 山下裕子氏 (ひと・ネットワーククリエイター/統めニスト)
- プロフィール: 2007年に開業した富山市まちなか活い広場「グランドブラン」のスタッフを経て、2014年から「ひと・ネットワーククリエイター」として活動開始。地域の余地を「用がなくても日常的にそこに行こう」と感じられるような機運醸成づくりの際に、地域の伴走者の立ち位置で活動中。2023年からアートと都市と公共空間研究会「メンバー」、著書に『にぎわいの場 富山グランドブラン稼働率100%の公共空間のつくり方』(学芸出版社)、『コンパクトシティのアーバニズム』(共著・東京大学出版会)、『生きた景観マネジメント』(共著・鹿島出版会)
- 宛先: 株式会社 URリンク
- FAX: 098-860-9678

申込書

参加内容 ※希望する参加内容を○でお囲みください。

1. 全て参加	2. まちあるき、講演会のみ
---------	----------------

ご参加者住所

ご参加者氏名(本人) ご参加者年齢

お勤め先(通学先) ※社名、学校名を記載

ご連絡先

TEL FAX

【高校生以下回答必須】保護者同意欄 ※保護者氏名をご記入ください。
本講演会・ワークショップに参加することについて、保護者の方から同意してもらいますようお願いいたします。
下記へ保護者氏名をご記入いただいた方は保護者同意済みとみなします。

保護者氏名

※ご記入いただいた個人情報は、講演会のみに使用し、第三者に提供することはございません。
※定めに達した場合は、申し込みを終めさせていただきます。

(1) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

■ 空地等を活用した広場の実験

- 胡屋北交差点改良事業の進捗に伴う空地などを活用し、当該エリアに必要とされる必要機能の一つである広場の在り方について実証実験を行うものとする。
- 休日昼間の賑わい創出などの観点から、2ケースの実証実験を行うものとする

視点		目的
①	将来的	・将来的に交通ターミナルに隣接し、まちの入り口となる広場として、回遊性向上やまちの活性化、安全安心等に資する広場の在り方を検討する
②	当面	・除却により発現する空地を資源ととらえ有効活用することで、まちの活性化等に資する使い方等を検討する
③	運営	・実験的な広場空間創出やまちの魅力向上等に資する取組が地元に根付き、今後も複数年にわたって継続されることを目指し、地元商店会や住民・学生等による自発的・積極的な関わりと行政のバックアップ体制の構築を促す

■ 実施場所案



ケース1：令和7年11月22日（土）

広場実証実験+地域イベント

（ミュージックマルシェ+沖縄国際カーニバル）

ケース2：令和7年11月23日（日）

広場実証実験のみ

■ 実施内容案



(1) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

■ 交流拠点機能の実験

- 大学等と連携を行い当該エリアの**まちづくりをテーマとした特別講義の実施**、商店街の空き店舗を活用（場所は調整中）した交流拠点の実証実験を行う。
- 広場の実証実験との連携**を図り、実証実験の事務局としての活用も図る。

大学との連携：まちづくりをテーマとした特別講義

「沖縄市胡屋中央地区に求められる広場空間」
について、皆さんのお声をお聞かせください。

- ◆ 沖縄市の胡屋・中央地区では、多様な交通手段が集まる交通拠点（通称：バスタ）の整備に向けて、国・沖縄県・沖縄市が連携して検討を進めています。
- ◆ また、バスタの整備に合わせて、周辺の広場空間も一体的に整備し、地域住民や来訪者が交流できるような機能の導入も検討されています。
- ◆ この広場空間にどのような交流機能を持たせるかについて、**学生ならではの視点からアイディアやコンセプト案を考えてみましょう。**
- ◆ 上記以外の内容で、まちなかや交通拠点にこういう機能（施設）があったらいいな！というアイディアがあれば、併せてお聞かせください。
- ◆ これから社会を担っていく皆さんの貴重な意見を、今後の施策に反映できればと考えていますので、ご協力をお願いします。



(1) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

■ 夜間バス実証実験

- 今年度11月から令和8年1月までの3ヵ月間、毎週土曜日を対象に、23時に那覇方面及び北谷・嘉手納・読谷方面に運行する夜間バスの実験を実施する予定。



第3回 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

沖縄市交通拠点まちづくり基本計画 (素案)

令和7年10月

沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

- 1 目的と位置付け
- 2 対象区域
- 3 計画の方針と施策
- 4 ロードマップ
 1. 沖縄サントリーアリーナ方面
 2. 沖縄こどもの国方面
 3. 一番街・八重島方面
 4. 沖縄市役所・コザ方面
 5. ウオーカブル
- 5 まちづくりから考える交通結節点に必要な機能
- 6 推進体制

本市では、交通拠点まちづくりに関する基本構想である「沖縄市交通拠点整備基本構想」を令和6年6月に策定した。

沖縄市交通拠点整備基本構想における交通拠点のまちづくりに寄与する施策について、地域住民及び関係者の合意形成を図り、具体的そして実効性のある計画として「沖縄市交通拠点まちづくり基本計画」の作成を行う。

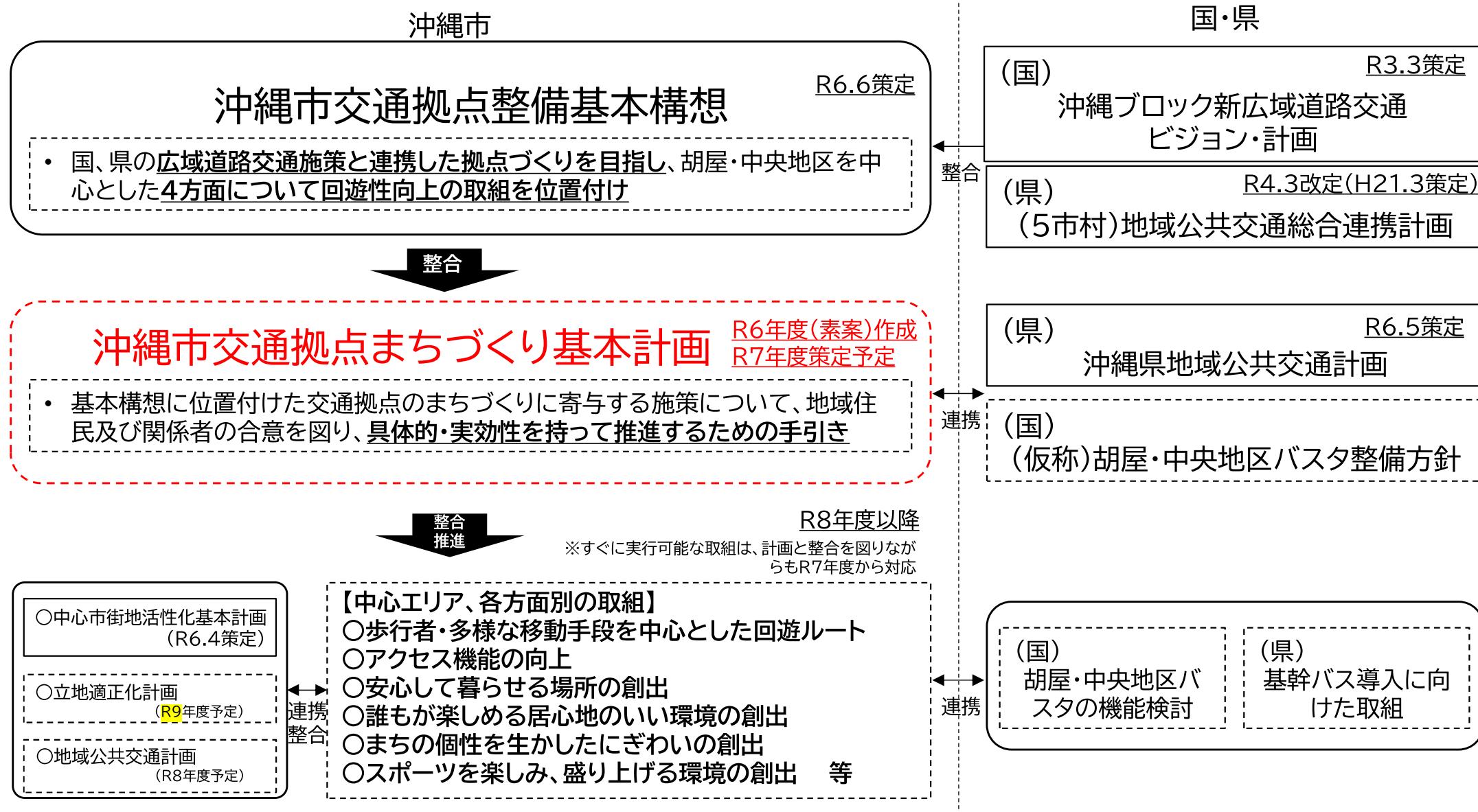
沖縄市交通拠点まちづくり基本計画では、胡屋・中央地区を中心とした交通拠点の形成に向けた目標・取組を明確にするとともに、市民・行政・教育研究機関・企業等が連携したまちづくりの手引きになることを目指す。

1 目的と位置付け

沖縄市

○基本計画の位置付け

- 基本構想の取組を具体的にかつ実効性を持って推進するための手引きとして作成、令和6年度は素案を作成、令和7年度に関係機関と調整の上計画として取りまとめる。

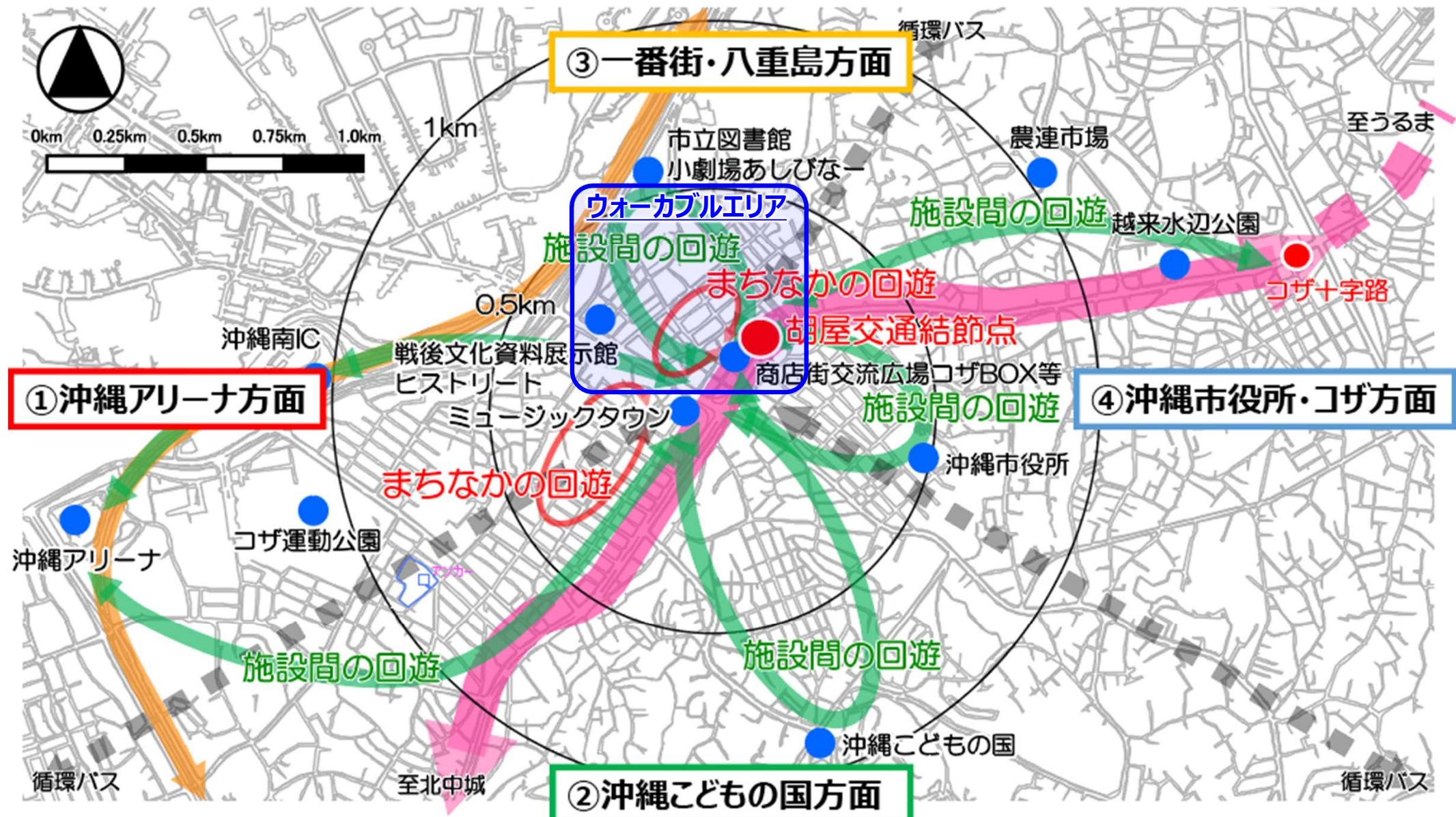


2 対象区域

沖縄市

○基本計画の対象エリア:

交通結節点を中心に、沖縄サントリーアリーナからコザ十字路を含む4方面及びウォーカブルエリア。



○沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の方針

K
O
Z
A
の
み
ん
な
で
つ
く
る
活
力
に
満
ち
た
ま
ち

沖縄市交通拠点 整備基本構想

【方針①】
だれもが楽しめる、居心地がいい場づくり

【方針②】
まちとまちとの結びつきを強くする場づくり

【方針③】
まちなかの結びつきを強くする場づくり

【方針④】
KOZAの歴史・文化が感じられる場づくり

【方針⑤】
より安全で安心なまちづくり

デザインコード(素案)

デザインコード1:

まちの骨格を生かした空間
沖縄市における商業景観軸、重点地区に設定されているゴザゲート通り地区・くすの木通り地区が交わる重要なエリアであることを踏まえた空間の構築

デザインコード2:

小さな風景がつくるコザらしさ
地域に点在する様々な街の機能、特徴を結び、地域の生活や歴史や文化を感じることができる空間の構築

デザインコード3:

生き生きとしたまちの表情に溶け込ませる
商店街と一体となった新たな拠点の構築により、地域と調和した徒步を中心とした人間スケールの空間の構築

デザインコード4:

多様性が絡み合う自由な空気感
地域の活動などの受け皿となるとともに、様々な人が憩い、佇むことができる居場所となる空間の構築

○コザらしさを育む ～地域の魅力向上～

- ・長く滞在してもらえる安心感のある場所の創出
- ・コザが有するユニークな歴史・文化・雰囲気に魅力を感じて訪れてもらえる場所の創出
- ・住みたいと思う人が暮らせる場所の創出
- ・様々な人のための交流、憩いの場の創出
- ・地域イベントにも活用できる賑わい創出のための溜まり空間の創出
- ・商店街と連続する徒步空間を活用した魅力の創出
- ・誰もを受け入れ歓迎する空間（ゲート等）の演出

○繋がる往来 ～都市間のアクセス機能の向上～

- ・那覇市と沖縄市を結ぶ軸となる基幹バスシステムとの連携
- ・路線バス、観光バス、高速バス、タクシー等との連携
- ・まちづくりと連携した駐車場施策の促進
- ・行先が分かりやすい乗降場、上屋、待合所、デジタルサイネージ、インフォメーションセンター等の整備

○まちを巡る ～地域内の回遊性向上～

- ・市内各所を巡る、バス（路線、循環、シャトル）、タクシー、その他交通手段（シェアサイクル、高齢者用乗り物、観光用乗り物 等）との連携
- ・歩いて巡る、ウォーカブル空間等の創出
- ・全ての人にとって居心地の良い空間となるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

○まちの顔 ～沖縄市が持つ個性的な空間づくり～

- ・国際色豊かで地域と調和した街並みの形成
- ・KOZA（戦前・戦後の記憶、琉球文化等）が感じられる空間の形成
- ・沖縄市独自の景観を活かした玄関口にふさわしい空間の形成
(国道330号、パークアベニュー、ゲート通り 等)

○安心を紡ぐ ～防犯・防災機能の向上～

- ・防災情報（警報、注意報等）や交通機関の運行情報等の情報発信
- ・帰宅困難者の避難場所として、交通拠点及び周辺公共空間の活用
- ・安全・安心なまちの創出（防犯・交通安全）
- ・沖縄サントリーアリーナとの連携・Wi-Fi等、災害時・緊急時の通信手段の確保
- ・無電柱化・公共空間等を活用した防災訓練

3 計画の方針と施策

品 沖縄市

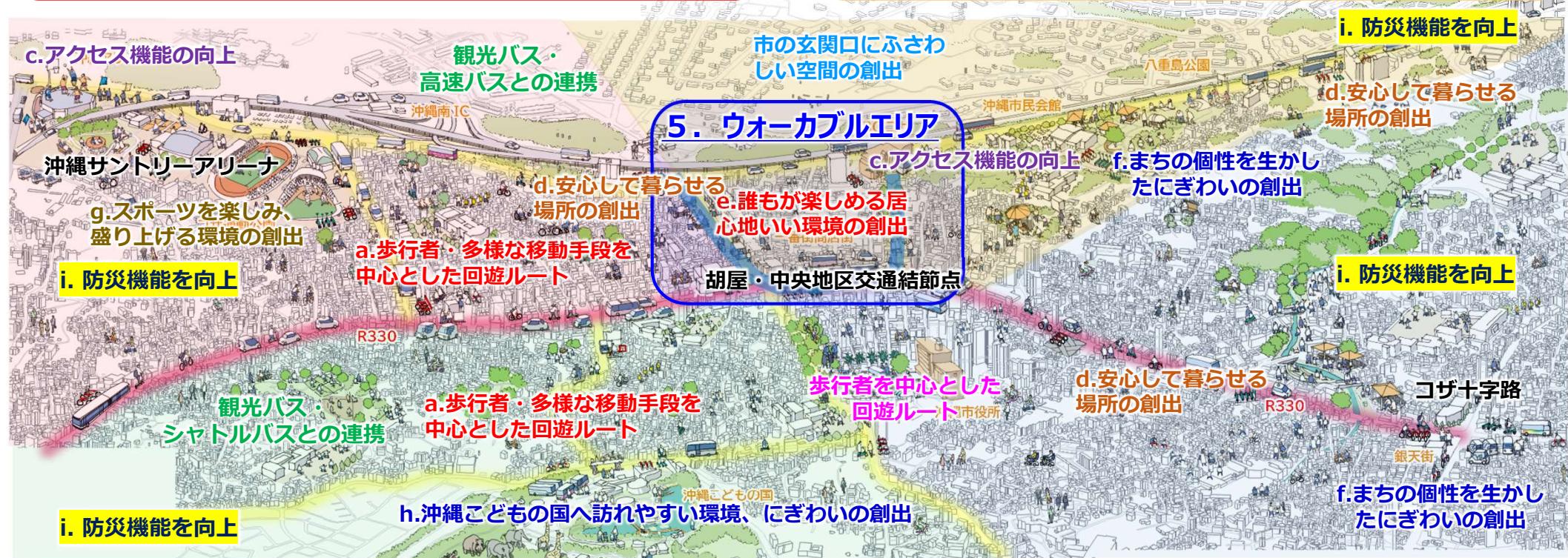
1) 施策イメージ

1. 沖縄サントリーアリーナ方面

1. スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出
2. まちの個性(商業・文化・歴史)を活かしたにぎわいの創出
3. 安心して暮らせる環境の創出

3. 一番街・八重島方面

1. まちの個性(商業・文化・歴史)を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出
3. 市の玄関口にふさわしい空間の創出



2. 沖縄こどもの国方面

1. 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

4. 沖縄市役所・コザ方面

1. まちの個性(商業・文化・歴史)を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

○沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の取組(案)

方面	施策	取組案	方面	施策	取組案
①沖縄サントリーアリーナ	a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間づくり	③一番街・八重島	a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間づくり ○ベンチ等小休憩場所の整備
	b歩行者を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○ベンチ等小休憩場所の整備		cアクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○モビリティ・ハブの設置 ○駐車場を活用した公共交通機能等との連携
	cアクセス機能の向上	○シャトルバス乗り場整備 ○タクシー乗り場整備 ○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備 ○モビリティ・ハブの設置		d安心して暮らせる場所の創出	○生活道路対策
	d安心して暮らせる場所の創出	○区画整理事業 ○生活道路対策		e誰もが楽しめる居心地のいい環境の創出	○乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化 ○商店街と拠点連携による賑わいの創出 (周辺エリアの情報発信 等) ○まちなか交流拠点の創出
	e誰もが楽しめる居心地のいい環境の創出	○乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化 ○商店街と拠点連携による賑わいの創出 (周辺エリアの情報発信 等) ○まちなか交流拠点の創出		fまちの個性を生かしたにぎわいの創出	○宿泊施設の誘致 ○商店街への誘客や交流促進 ○パークアベニュー整備事業(対面2車線化) ○昼の賑わい創出(販売店(日用品) 飲食店(カフエ等)) ○駐車場の整備、更新、連携 ○広場や公園等を活用したイベント ○地域の特色を生かしたユニークな空間・景観づくり
	fまちの個性を生かしたにぎわいの創出	○宿泊施設の誘致 ○商店街への誘客や交流促進 ○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○昼の賑わい創出(販売店(日用品) 飲食店(カフエ等)) ○駐車場の整備、更新、連携 ○地域の特色を生かしたユニークな空間・景観づくり		a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間づくり
	gスポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出	○スポーツイベント等 ○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり		b歩行者を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり
	a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間づくり		cアクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備 ○モビリティ・ハブの設置
	cアクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備		d安心して暮らせる場所の創出	○区画整理事業 ○生活道路対策
②沖縄こどもの国	d安心して暮らせる場所の創出	○生活道路対策		fまちの個性を生かしたにぎわいの創出	○商店街への誘客や交流促進 ○昼の賑わい創出(販売店(日用品) 飲食店(カフエ等)) ○広場や公園等を活用したイベント ○地域の特色を生かしたユニークな空間・景観づくり
	h沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出	○県外・県内からの観光客誘致 ○日本一ユニークな施設への整備拡充 ○地域の特色を生かしたユニークな空間・景観づくり	④沖縄市役所・コザ	i防災機能を向上	○防災力向上の取組
				ウオーカブル	コザゲート通り 一番街商店街周辺 交通結節点及び周辺 中央パークアベニュー 全体(ウォーカブル区域)
					○コザの音楽や歴史・文化の継承 ○通りの特色を活かした景観づくり ○昔と今を融合した商店街等の形成 ○花やみどりにあふれたひと中心の通り ○人々が集い・滞留し、居場所となる空間づくり ○分かりやすく魅力ある案内表示等の整備 ○交通結節点を拠点にした回遊性の促進

3 計画の方針と施策

沖縄市

地域活性化イメージ



4 ロードマップ

沖縄市

役割分担一覧(案):

取組案	主な内容	国	県	市	警察 沖縄署	地域 商店街	大学 研究機関	バス 事業者	民間企業
a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間づくり	○	○	○	○	○			○
b歩行者を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○ベンチ等小休憩場所の整備	○	○	○	○	○			
cアクセス機能の向上	○シャトルバス乗り場整備 ○タクシー乗り場整備 ○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備 ○モビリティ・ハブの設置	○	○	○	○			○	○
d安心して暮らせる場所の創出	○区画整理事業 ○生活道路対策			○	○				
e誰もが楽しめる居心地のいい環境の創出	○乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化 ○商店街と拠点連携による賑わいの創出 (周辺エリアの情報発信 等) ○まちなか交流拠点の創出	○	○	○		○	○	○	
fまちの個性を生かしたにぎわいの創出	○宿泊施設の誘致 ○商店街への誘客や交流促進 ○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○昼の賑わい創出(販売店(日用品)飲食店(カフェ等)) ○駐車場の整備、更新、連携 ○地域の特色を生かしたユニークな空間・景観づくり	○	○	○		○	○		○
gスポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出	○スポーツイベント等 ○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり			○					
h沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出	○県外・県内からの観光客誘致 ○日本一ユニークな施設への整備拡充 ○地域の特色を生かしたユニークな空間・景観づくり			○					
i防災機能を向上	○防災力向上の取組	○	○	○					○
ウォーカブル	○コザの音楽や歴史・文化の継承 ○通りの特色を活かした景観づくり ○昔と今を融合した商店街等の形成 ○花やみどりにあふれたひと中心の通り ○人々が集い・滞留し、居場所となる空間づくり ○分かりやすく魅力ある案内表示等の整備 ○交通結節点を拠点にした回遊性の促進	○	○	○	○	○	○		

取組イメージ

a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート

【歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり】

- 来訪者が楽しく歩ける機能の充実を図ります。

道路空間イメージ(例:丸の内仲通り)



出典:官民連携まちづくりポータルサイト(国土交通省都市局HP)

【概要】シェアードストリート(NACTO リ・デザイン例より)

- 歩行者を中心とした道路空間(車や自転車等も通行可能)。舗装は歩行者の優先順位を強化するために歩道と統一化を図る。
- ①すべての入り口に警告用のストリップを設置。
- ②配送車両用のエリアをマーク。
- ③ベンチ、プランター、アートワーク、樹木、噴水、ボラード、駐輪場などのストリートファニチャーを使用して、共有スペース内の走行車線を描写。
- ④安全で居心地の良い環境を作り出すため照明を整備。
- ⑤プランターや樹木などの造園。可動プランターを使用した、特定の時間帯の車両の交通アクセスの制限等。



出典:NACTO(Global Street Design Guide) 10

役割分担(案)

関係者	国、県、市、地域・商店街
取組	<ul style="list-style-type: none">・ ウオーカブル推進計画(案)・ 胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・ 胡屋・中央地区における道路使用に関する許認可・ 胡屋・中央地区における道路の維持管理・ 胡屋・中央地区におけるエリアの景観形成、景観計画・ガイドラインの作成・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 賑わいを創出するための道路空間の活用

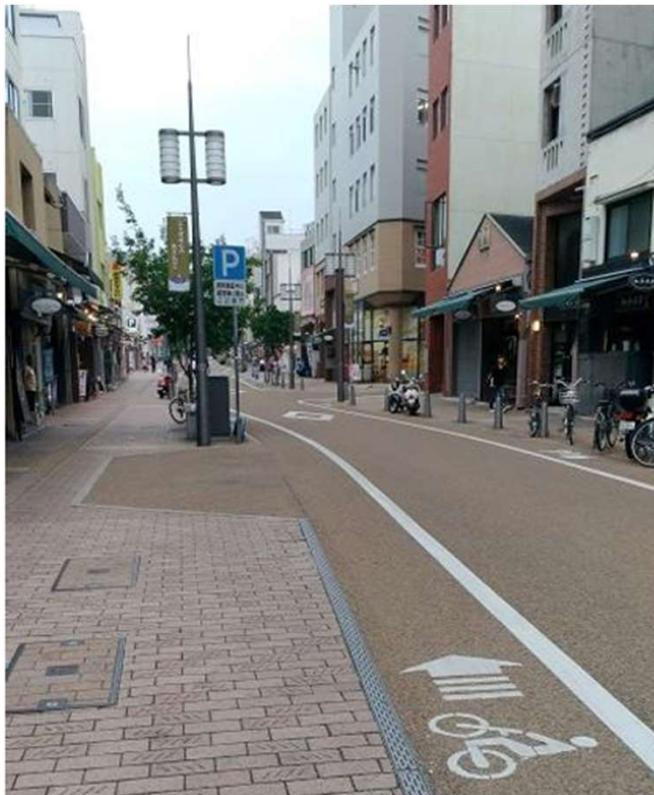
取組イメージ

a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート

【自転車等の走行空間づくり】

- 来訪者が楽しく、自転車等で安全に走行できる機能の充実を図ります。

道路空間イメージ



整備形態	整備イメージ
自転車道	<p>A. 自転車と自動車を構造物により分離する場合</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 着色あり 着色なし </div>
自転車専用通行帯	<p>B. 車道内で自転車と自動車の通行帯を分離する場合</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 幅の全部を着色 幅の一部を着色 </div>
車道混在	<p>C. 車道混在とする場合</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 矢羽根型路面表示等を設置 矢羽根型路面表示等で注意喚起 </div>

図 I-8 基本的な整備形態（イメージ）

出典:安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国土交通省HP)

道路空間イメージ



出典:国交省 自転車活用推進本部 地方版自転車活用推進計画 策定の手引き(案) (国土交通省HP)

役割分担(案)

関係者	国、県、市、民間企業
取組	<ul style="list-style-type: none">・自転車活用推進計画(調査・検討・策定)・胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・胡屋・中央地区における道路使用に関する許認可・胡屋・中央地区における道路の維持管理・胡屋・中央地区におけるエリアの景観形成、景観計画・ガイドラインの作成・交通結節点周辺のまちづくり検討・賑わいを創出するための道路空間の活用・モビリティ事業(シェアサイクル等)の実施

取組イメージ

b歩行者を中心とした回遊ルート

【ベンチ等小休止場所の整備】

- 来訪者が歩きやすくなる機能の充実を図ります。

ベンチ等小休止場所のイメージ(沖縄ゲート通り)



ベンチ等小休止場所のイメージ(沖縄ゲート通り)



役割分担(案)

関係者	国、県、市、地域・商店街
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・ 胡屋・中央地区における道路使用に関する許認可・ 胡屋・中央地区における道路の維持管理・ 胡屋・中央地区におけるエリアの景観形成、景観計画・ガイドラインの作成・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 賑わいを創出するための道路空間の活用

取組イメージ

④ アクセス機能の向上

【モビリティハブの整備 等】

- 来訪者の利便性を高めるため、結節機能の充実を図ります。

モビリティハブ

- 「モビリティハブ」とは、様々な交通モード（小型モビリティ、電動キックボード、電動アシスト付自転車、EVバイク等）の接続・乗り換え拠点を指している。

イメージ(例:東京都世田谷区)



出典:ENEOSホールディングス(株)資料より



▲中心市街地での導入（東京都豊島区）



▲観光地での活用（広島県福山市）

出典:グリーンスローモビリティの導入と活用のための手引き(国土交通省)

シェアサイクルポートの設置(例:沖縄市銀天街前の広場)



役割分担(案)

関係者	国、県、市、民間企業
取組	<ul style="list-style-type: none">・胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・胡屋・中央地区における道路使用に関する許認可・胡屋・中央地区における道路の維持管理・胡屋・中央地区におけるエリアの景観形成、景観計画・ガイドラインの作成・交通結節点周辺のまちづくり検討・賑わいを創出するための道路空間の活用・モビリティ事業(シェアサイクル等)の実施・公共交通の活性化

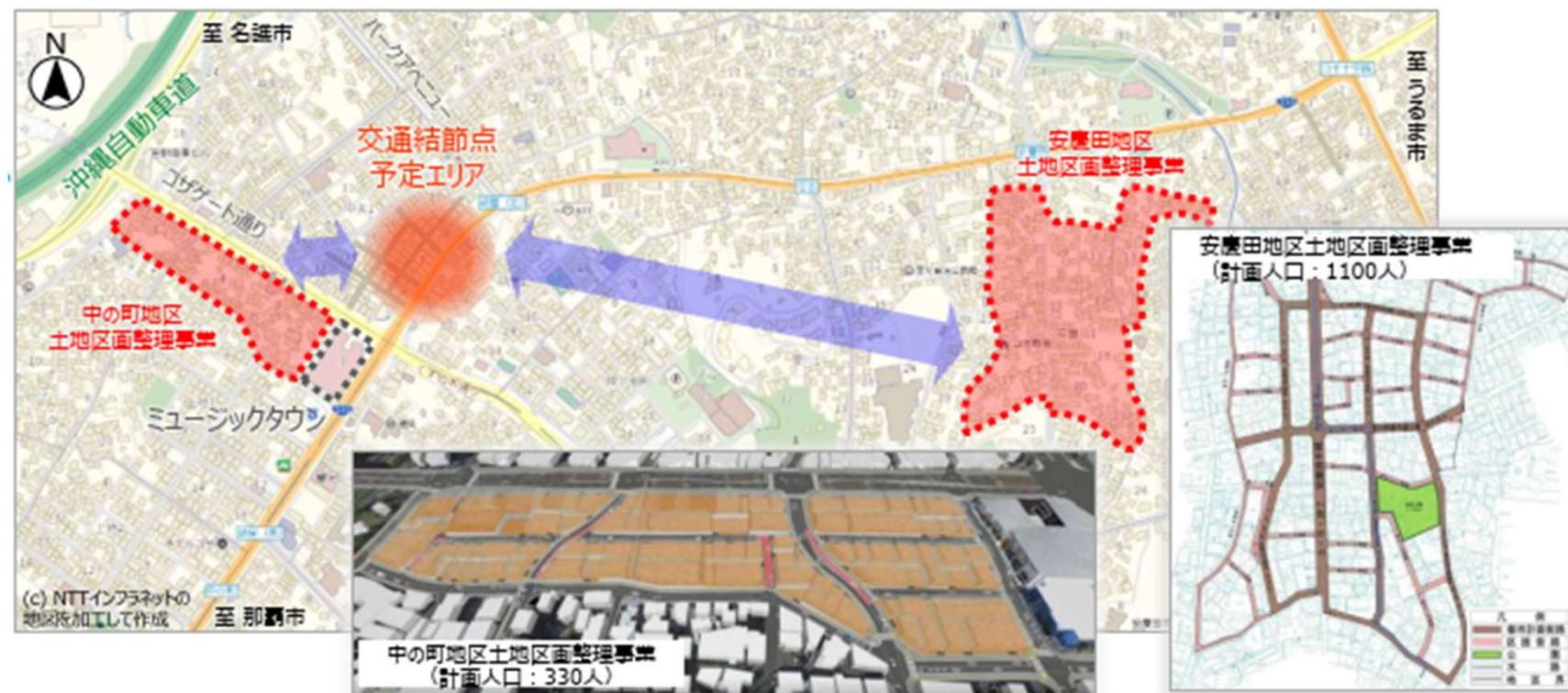
取組イメージ

d 安心して暮らせる場所の創出

【土地区画整理事業】

- 地域住民の生活環境を高めるため、土地区画整理事業の推進を行います。

土地区画整理事業(中の町地区、安慶田地区)



役割分担(案)

関係者	県、市
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・ 胡屋・中央地区における道路の使用に関する許認可・ 胡屋・中央地区における道路の維持管理・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 中の町地区、安慶田地区の区画整理事業の実施

取組イメージ

安心して暮らせる場所の創出

【生活道路対策】

- 地域住民の安全な歩行空間を確保するため、生活道路安全対策を行います。

生活道路対策イメージ(例:浦添市宮城地区)

●位置図

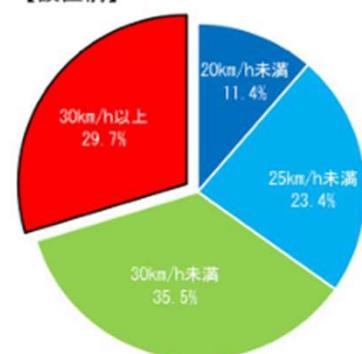


●生活道路対策の実施事例(浦添市仲西小学校前)

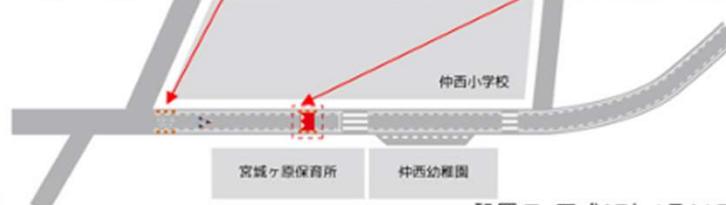


●ハンプ設置後の車両速度分布の変化

【設置前】



【設置後】



設置日:平成27年1月31日

出典:沖縄県公共交通活性化推進協議会

出典:浦添市における生活道路対策の取組について(浦添市道路課)

役割分担(案)

関係者	国、市、警察
取組	<ul style="list-style-type: none">・胡屋・中央地区周辺における生活道路対策の検討、実施、支援

取組イメージ

e誰もが楽しめる居心地いい環境の創出

【乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化】

- 来訪者の乗り継ぎ利便性を向上に向けた機能の充実を図ります。

表 2-1 交通拠点の機能の概要

区分	機能	機能の具体例	
交通機能	基本機能	バスやタクシー等への乗降や乗降までの移動・待合、また、車両の拠点内の移動や停留・待機、交通ターミナルの運営等、交通拠点が備えるべき基本的な機能	 乗降空間  待合空間
	交通結節機能	交通拠点における多様な交通モードが一体となって機能するよう、交通モード間を円滑に接続するための機能	 次世代交通ターミナル  モビリティ・ハブ
	防災機能	交通拠点の交通機能を災害時においても確保するための機能。	 駐宅困難者の一時滞在  災害時の代替輸送
交流等機能	地域の拠点・賑わい機能	まちづくりと連携し、賑わいのある空間を創出するための機能	 イベントの実施  賑わい広場
	サービス機能	交通拠点を利用する歩行者の利便性向上に係る各種サービスの提供を行うための機能	 購買施設  トイレ
	景観機能	交通拠点として地域の顔にふさわしい景観の創出、また、訪れる人にゆとりや安らぎを与えるための機能	 特徴的な建物外観  緑地空間

出典:交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン(国土交通省)

- 待合空間の創出・小型モビリティの導入
 - 便利で快適な待合空間を確保するため、**バス待合所を設置**し、**デジタルサイネージ等でバス運行時刻等の情報提供**等
 - 周辺施設の回遊性向上及び当該施設利用圏域を広げるため、**自転車等小型モビリティを導入**
- 移動円滑化・地区全体でのバリアフリーな空間の形成
 - 安全性・アクセス向上のため、**円滑な歩行者ネットワークを確保**するとともに、**バリアフリーな空間を形成**等
- 防災機能の構築
 - 待合空間を一時避難場所**として活用
 - デジタルサイネージを活用した防災情報の提供**等
- 多様な都市活動促す施設・広場の創出
 - 賑わい・滞留・交流機能等の**多様な都市活動が可能となる拠点づくり**。
- 公共交通利用促進等の情報提供機能の創出
 - 交通拠点内に**総合案内所を設置**し、**利用者のニーズ(券売所、交通系IC等)に対応**等
- 道路と緑地の立体的・良好な空間の形成
 - 道路空間の緑地スペースとしての活用、良好な環境の創出、景観の形成 等

出典:沖縄市交通拠点整備基本構想(令和6年6月)

役割分担(案)

関係者	国、県、市、地域・商店街、バス事業者
取組	<ul style="list-style-type: none">・胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・基幹バス導入の取組・交通結節点周辺のまちづくり検討・中心市街地活性化の取組・連携・沖縄市循環バスの取組

取組イメージ

e誰もが楽しめる居心地いい環境の創出

【商店街と拠点の連携による賑わい創出】

- 来訪者が楽しめるよう機能の充実、空間創出に向けた取り組みについて、実証実験も含めにぎわい創出を図ります。

道路空間イメージ(例:一番街商店街での誘客イベント)



実験イメージ(例:沖縄市胡屋・中央地区の空き地活用)



お絵描きワークショップ



スタンプラー



沿道空地を活用した滞留空間



パラソル・イス・テーブル

役割分担(案)

関係者	国、県、市、地域・商店街
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・ 胡屋・中央地区における道路使用に関する許認可・ 胡屋・中央地区における道路の維持管理・ 胡屋・中央地区におけるエリアの景観形成、景観計画・ガイドラインの作成・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 賑わいを創出するための道路空間の活用

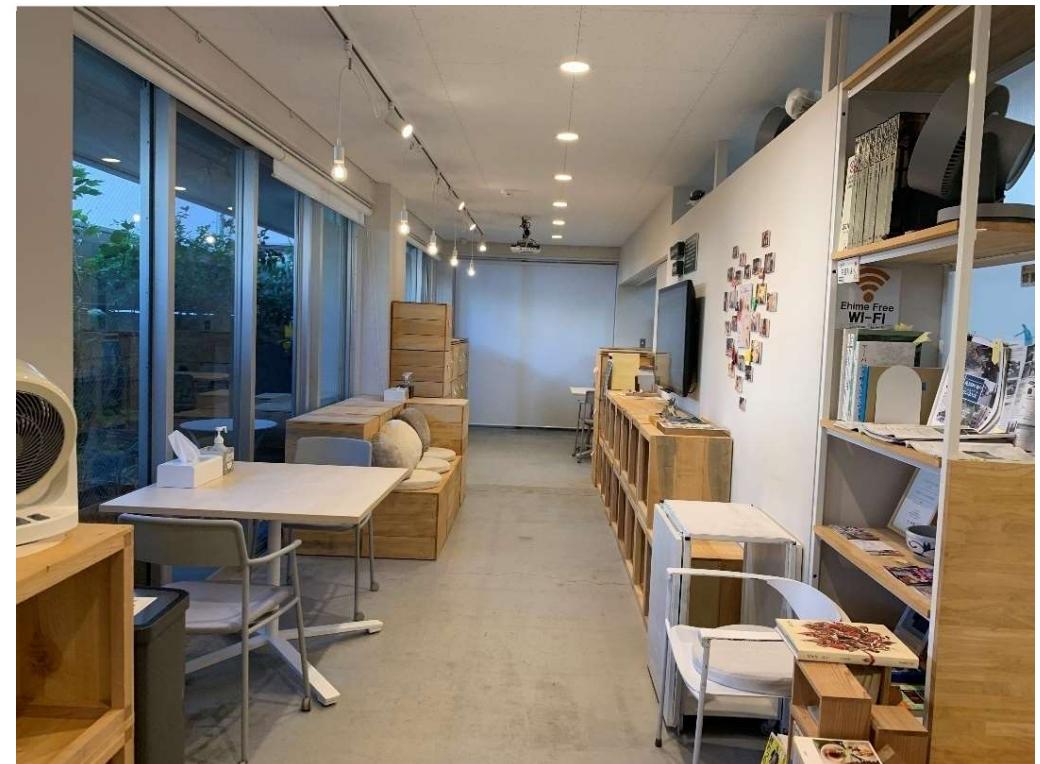
取組イメージ

e誰もが楽しめる居心地いい環境の創出

【まちなか交流拠点の創出】

- 様々なまちづくり関係者(行政、民間、学識等)が集い、まちづくりの取組が行える機能の充実を図ります。

まちづくり交流拠点イメージ(例:愛媛県松山市 松山アーバンデザインセンター)



役割分担(案)

関係者	国、県、市、地域・商店街、大学研究機関
取組	<ul style="list-style-type: none">・胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・基幹バス導入の取組・交通結節点周辺のまちづくり検討・中心市街地活性化の取組・交流拠点創出の取組・連携・まちづくりへの参画

取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【宿泊施設の誘致】

- 来訪者の目的地となるよう、機能の充実を図ります。

宿泊施設の誘致イメージ(例:沖縄市 一番街商店街、パークアベニュー)



出典:トリップショットホテルズ・沖縄コザHP

役割分担(案)

関係者	国、県、市、地域・商店街、まちづくり会社
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 中心市街地活性化の取組・ 交流拠点創出の取組・連携

取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【昼の賑わい創出(販売店(日用品等)、飲食店(カフェ等))】

- 来訪者の目的地となるよう、機能の充実を図ります。

飲食店、販売店の誘致イメージ(例:沖縄市 ゲート通り、パークアベニュー)



役割分担(案)

関係者	国、県、市、地域・商店街、大学研究機関
取組	<ul style="list-style-type: none">・胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・基幹バス導入の取組・交通結節点周辺のまちづくり検討・中心市街地活性化の取組・交流拠点創出の取組・連携・まちづくりへの参画

取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【駐車場の整備、更新、連携】

- 来訪者のアクセス性を向上するため、駐車機能(P&R等)の充実を図ります。

駐車施設イメージ(例:広島県呉市 呉駅西駐車場)



役割分担(案)

関係者	市、地域・商店街、民間企業
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 交通結節点周辺のまちづくり検討(駐車場機能の検討)・ 市有地の活用検討・ 駐車場の整備・更新

取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【パークアベニュー整備事業】

- 円滑で安全な交通環境の確保のため、胡屋北交差点の改良に合わせて、道路空間の再整備を図るとともに、ウォーカブルな空間創出・運用に取り組みます。

取組イメージ(例:パークアベニュー2車線化)



出典:沖縄市HP

役割分担(案)

関係者	市、地域・商店街
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・ 胡屋・中央地区における道路の使用に関する許認可・ 胡屋・中央地区における道路の維持管理・ 胡屋・中央地区におけるエリアの景観形成、景観計画・ガイドラインの作成・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 賑わいを創出するための道路空間の活用

取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【公園を活用したイベント】

- 来訪者のため、公園を活用した賑わいの創出を図ります。

取組イメージ(例:南池袋公園、八重島公園)



出典:官民連携まちづくりポータルサイト(国土交通省都市局HP)

出典:イザ☆コザ(沖縄市(コザ)地域情報サイト)

役割分担(案)

関係者	市、民間企業
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 公園使用に関する許認可・ 公園等、公共交空間の活用

取組イメージ

「まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【地域の特色を生かしたユニークな空間・景観づくり】

- ・ 地域の歴史・文化・特徴等をテーマに、ユニークな空間・景観を形成します。

取組イメージ(例:商店街(パルミラ通り等)、沖縄郵便局通り、コザ十字路、ゲート通り、パークアベニュー等)



役割分担(案)

関係者	市、地域・商店街
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 胡屋・中央地区における道路整備・改良事業・ 胡屋・中央地区における道路の使用に関する許認可・ 胡屋・中央地区における道路の維持管理・ 胡屋・中央地区におけるエリアの景観形成、景観計画・ガイドラインの作成・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 賑わいを創出するための道路空間の活用

取組イメージ

h沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出

【日本一ユニークな施設への整備拡充】

- ・ 広域的なレクリエーション需要を充足する公園として人材の育成、観光施設としての魅力を備えた施設を目指して、機能の充実を図ります。

取組イメージ(例:沖縄こどもの国 ワニ展示エリア改修)



不思議な"フェイス"がお出迎え



地階から空中園路まで楽しめる多層構造



園路から動物達の生活空間を観察

出典:株式会社トロピカル・グリーン設計HP

取組イメージ(例:飲食物販店の配置 空中ライドのルート)



図:物販・飲食施設の配位置



図:空中ライドの標準ルート

出典:沖縄こどもの国施設整備基本計画(沖縄市HP)

役割分担(案)

関係者	市
取組	<ul style="list-style-type: none">・ 交通結節点周辺のまちづくり検討・ 中心市街地活性化の取組・ こどもの国の空間を活用した賑わい創出

取組イメージ

i防災機能を向上(商店街を活用した防災の取組)

- 防災情報(警報、注意報等)や交通機関の運行情報等の情報発信

取組イメージ(災害時のデジタルサイネージの活用)



【デジタルサイネージを活用した情報発信のイメージ（地震発生時）】※多言語対応



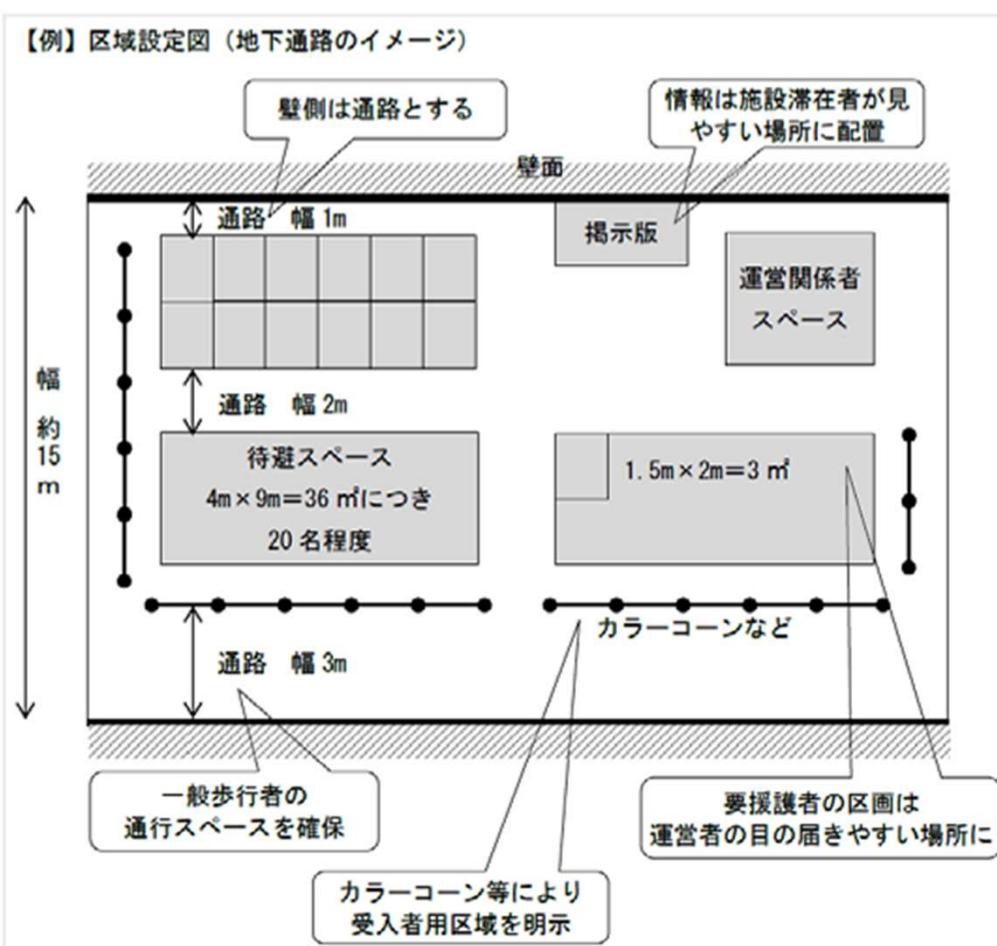
取組イメージ

i防災機能を向上(商店街を活用した防災の取組)

- 帰宅困難者の避難場所としての交通結節点及び周辺公共空間の活用

取組イメージ(帰宅困難者の避難場所としての道路空間の活用)

【例】区域設定図（地下通路のイメージ）



出典:大規模地震の発生に伴う帰宅困難者対策の取組事例集(内閣府)

取組イメージ

i防災機能を向上(商店街、公園空間等を活用した防災の取組)

- Wi-Fi等、災害時・緊急時の通信手段の確保
- 公園空間等を活用した防災訓練(キャンプ、火起こし、食事等)の実施

取組イメージ(平時と災害時におけるWi-Fiの活用)

防災キャンプin中田島(風車公園2025/9/21)

平時と災害時におけるWi-Fiの活用

2



出典:総務省資料

出典:日本キャンプ協会HP

役割分担(案)

関係者	国、市、民間企業
取組	<ul style="list-style-type: none">・防災機能の向上・交通結節点周辺のまちづくり検討・公園使用に関する許認可・公園等、公共交空間の活用

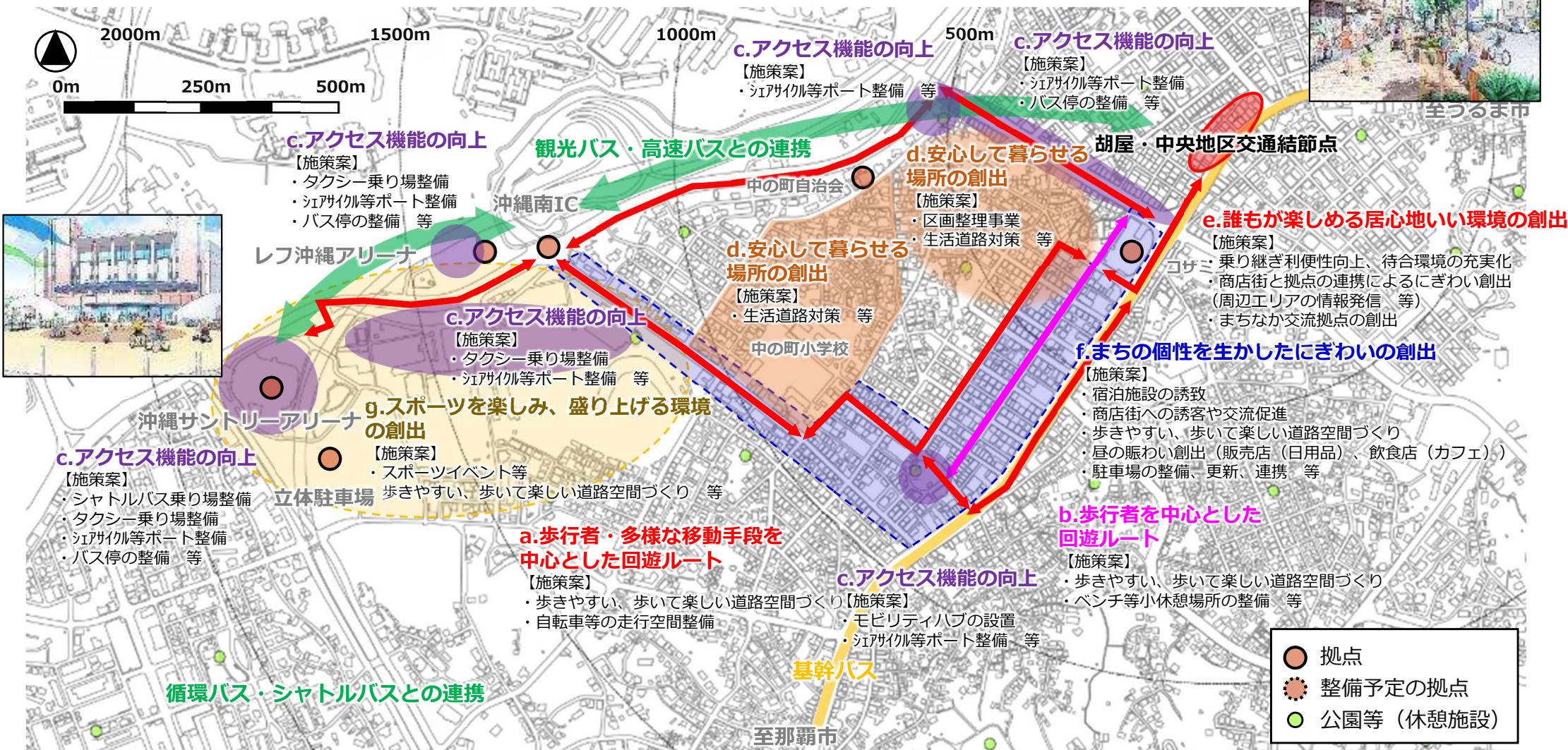
①沖縄サントリーアリーナ方面の取組の進め方イメージ

①沖縄サントリーアリーナ方面

1. スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出
2. まちの個性（商業・文化・歴史）を活かしたにぎわいの創出
3. 安心して暮らせる環境の創出

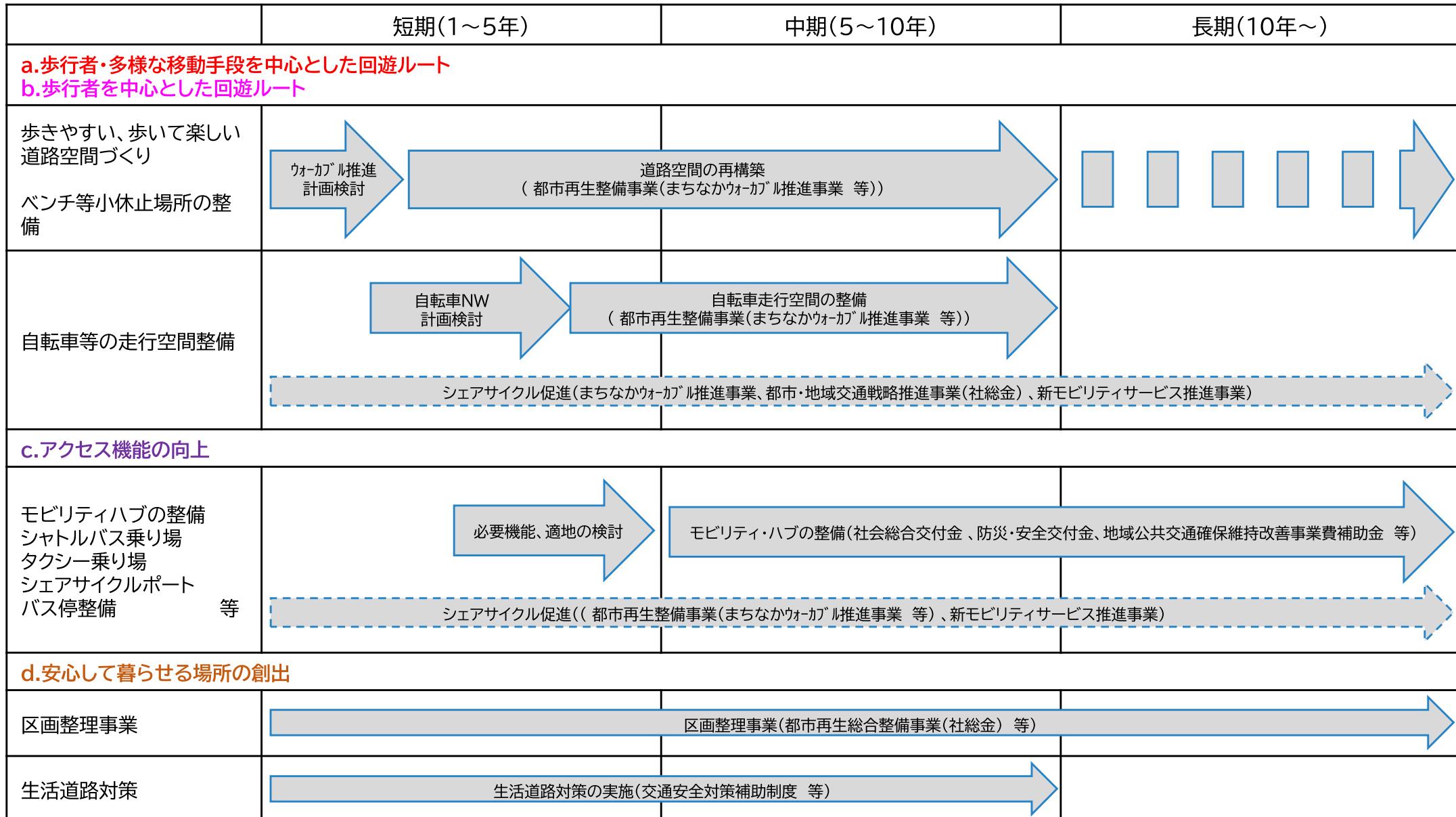


全つるま市



①沖縄サントリーアリーナ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題



①沖縄サントリーアリーナ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
e.誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)	防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)	新モビリティサービス推進事業 等)
	市循環バス、高速バス、観光バス、その他交通機能等との連携方策検討		P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)
	P&R駐車場の適地検討		
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街活性化支援事業		
		沖縄サントリーアリーナと商店街との連携	
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

①沖縄サントリーアリーナ方面の取組の進め方イメージ

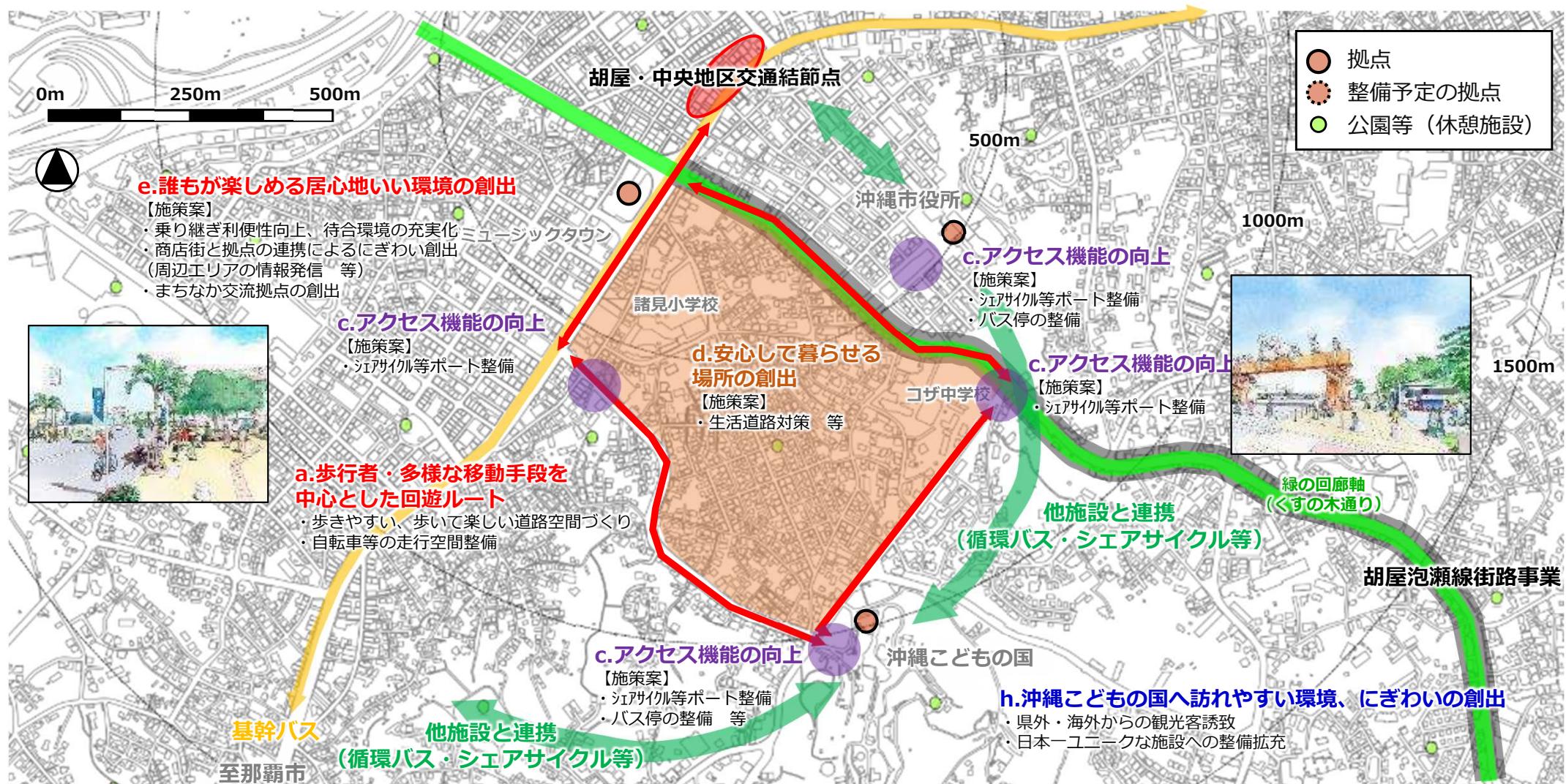
※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
f.まちの個性を生かしたにぎわいの創出			
宿泊施設の誘致	宿泊施設等の観光関連産業の誘致(中活計画) 		
商店街への誘客や交流促進 昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ))	商店街活性化支援事業 		
駐車場の整備、更新、連携	P&R駐車場の適地検討 	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等) 	
g.スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出			
スポーツイベント等	スポーツ振興事業(中活計画) 		
	アーバンスポーツパーク(中活計画) 		

②沖縄子どもの国方面の取組の進め方イメージ

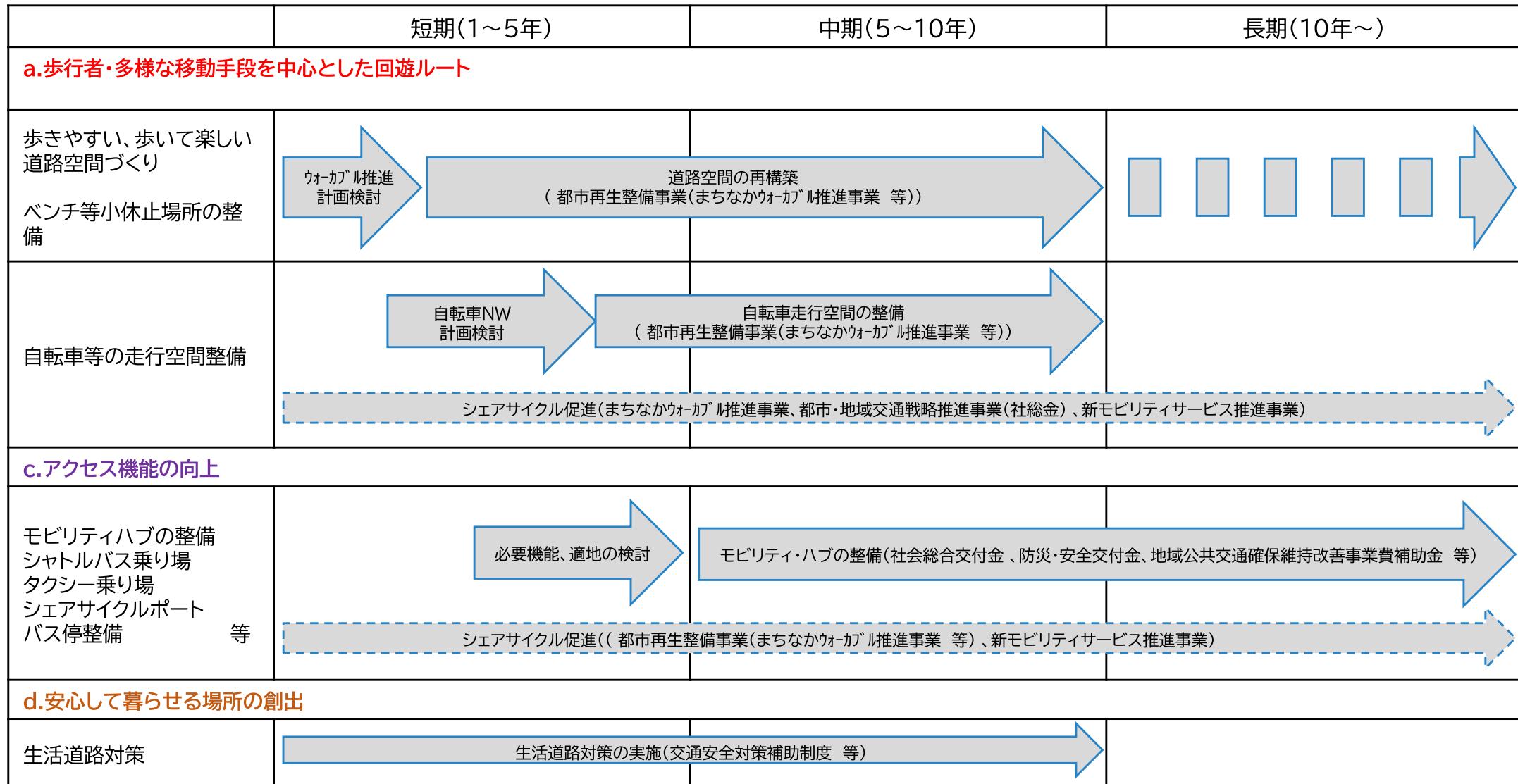
②沖縄子どもの国方面

1. 沖縄子どもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出



②沖縄こどもの国方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題



②沖縄こどもの国方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
e.誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
	市循環バス、高速バス、観光バス、その他交通機能等との連携方策検討		
	P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街活性化支援事業		
		沖縄アリーナと商店街との連携	
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

②沖縄こどもの国方面の取組の進め方イメージ

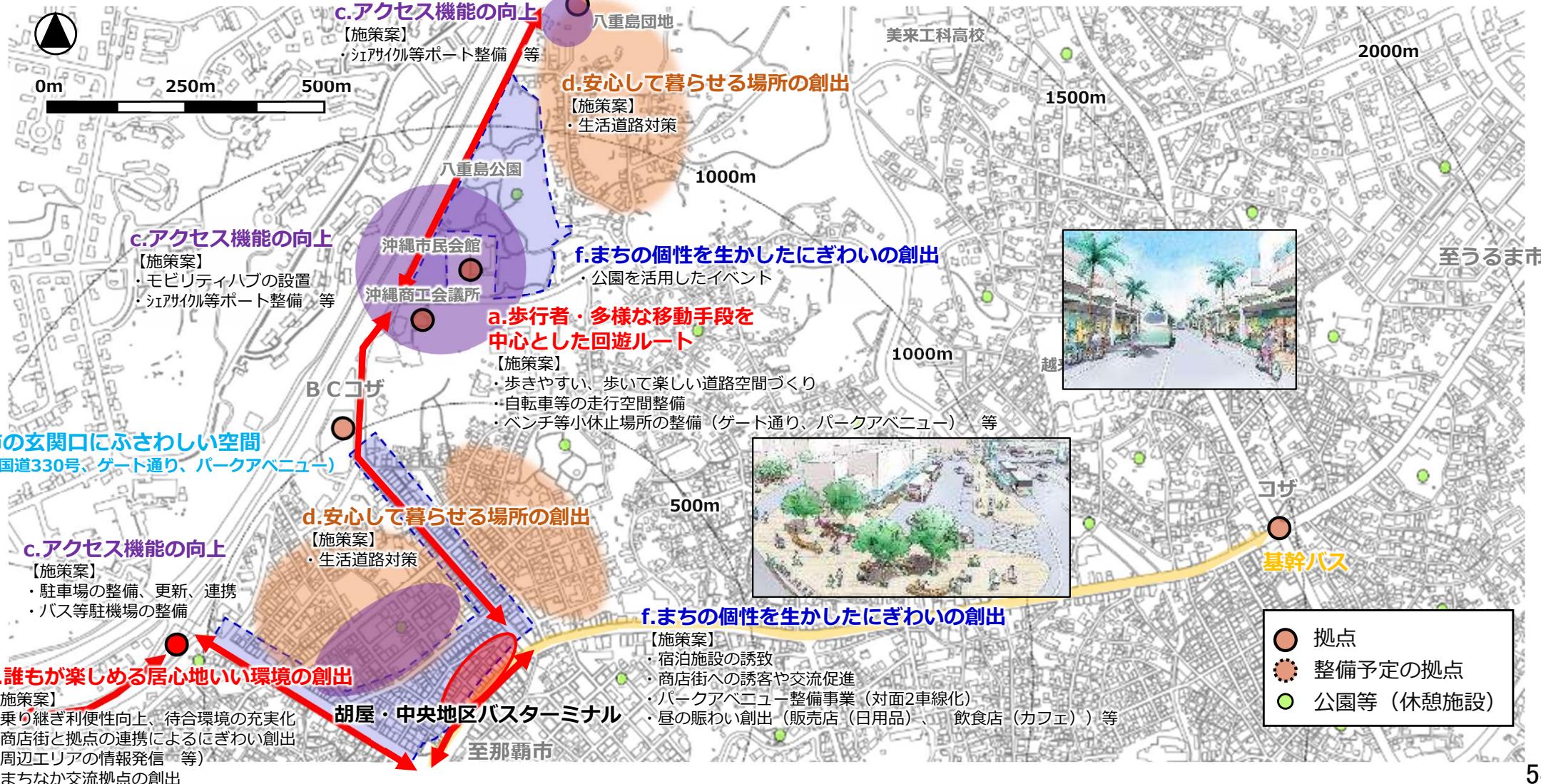
※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
h.沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出			
県外・海外からの観光客誘致	観光客の誘致		
日本一ユニークな施設への整備拡充	都市公園事業(こどもの国公園)(中活計画) 沖縄こどもの国整備事業(中活計画)		

③一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

③一番街・八重島方面

1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出
3. 市の玄関口にふさわしい空間の創出



③一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
a.歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート			
歩きやすい、歩いて楽しい 道路空間づくり ベンチ等小休止場所の整備	ウォーカブル推進 計画検討	道路空間の再構築 (都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業等))	
自転車等の走行空間整備	自転車NW 計画検討	自転車走行空間の整備 (都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業等))	
c.アクセス機能の向上			
モビリティハブの整備 シャトルバス乗り場 タクシー乗り場 シェアサイクルポート バス停整備 等	必要機能、適地の検討	モビリティ・ハブの整備(社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金等)	
駐車場の整備、更新、連携	P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用等)	
d.安心して暮らせる場所の創出			
生活道路対策	生活道路対策の実施(交通安全対策補助制度等)		

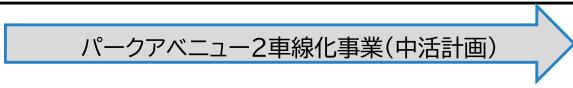
③一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
e.誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
	市循環バス、高速バス、観光バス、その他交通機能等との連携方策検討		
	P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街活性化支援事業		
	沖縄アリーナと商店街との連携		
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

③一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

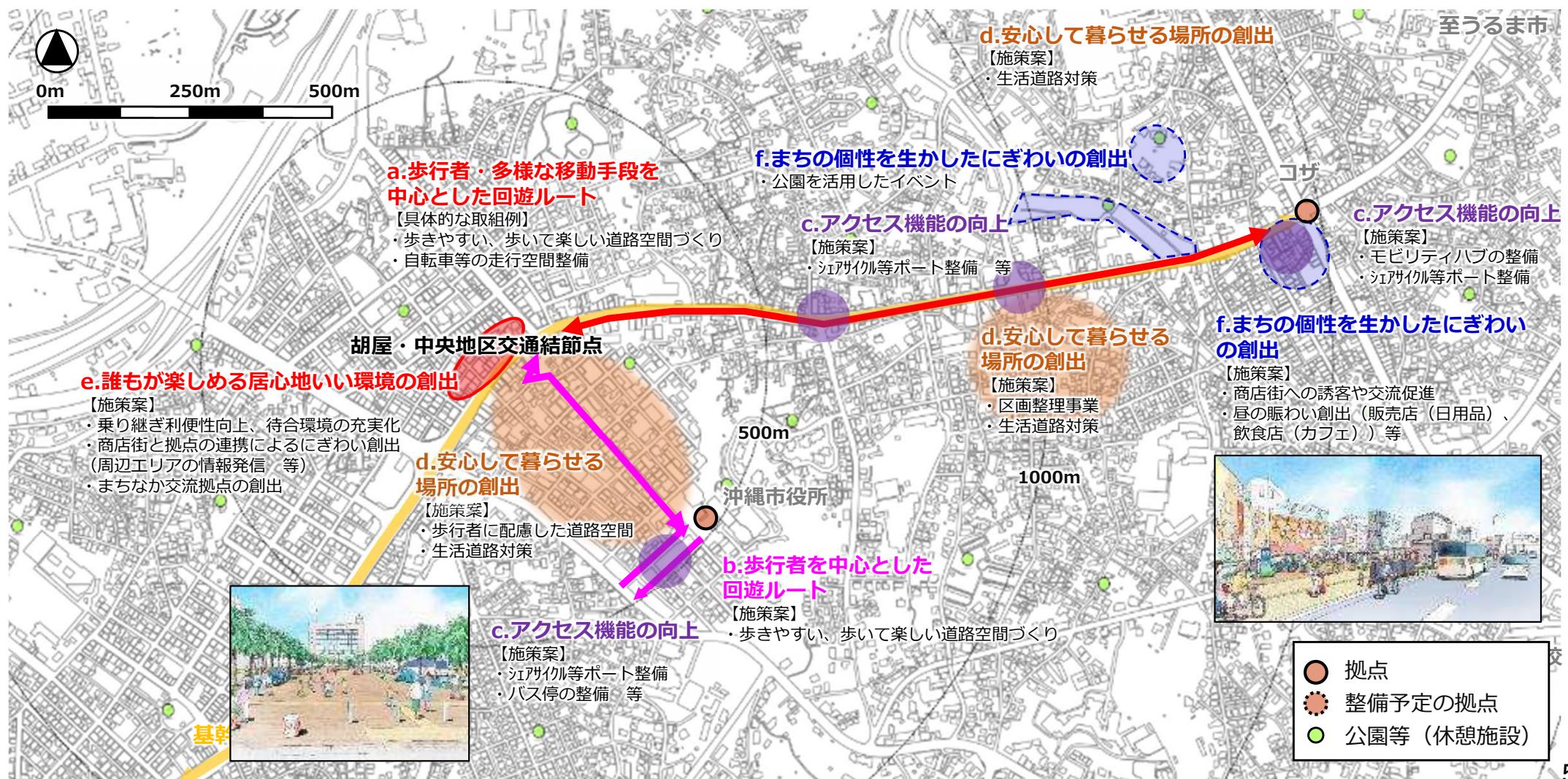
※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
f.まちの個性を生かしたにぎわいの創出			
宿泊施設の誘致	宿泊施設等の観光関連産業の誘致(中活計画) 		
商店街への誘客や交流促進 昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ))	 商店街活性化支援事業		
パークアベニュー整備事業	パークアベニュー2車線化事業(中活計画) 		

④沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

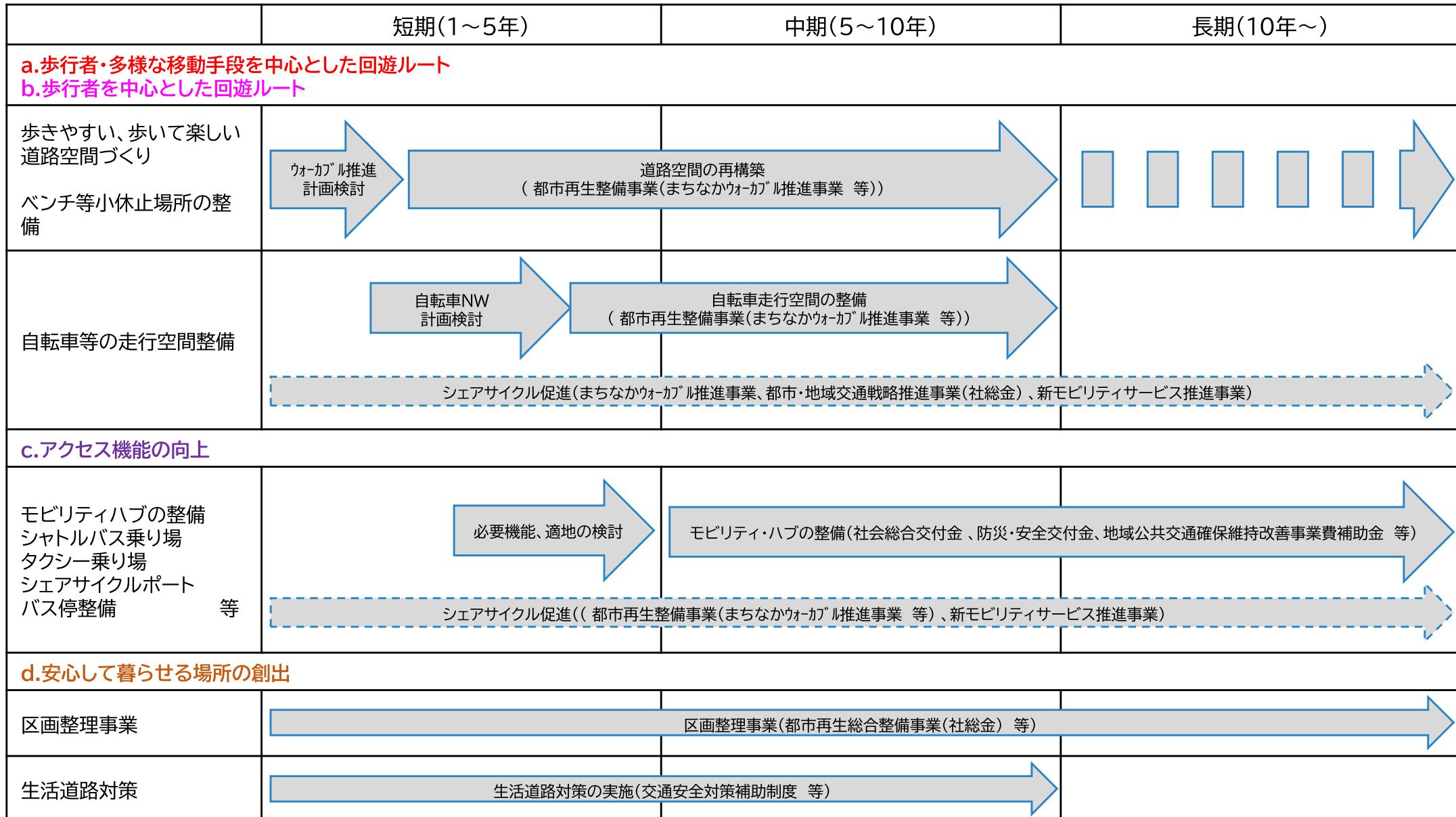
④沖縄市役所・コザ方面

1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
 2. 安心して暮らせる環境の創出



④沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題



④沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
e.誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)	防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)	新モビリティサービス推進事業 等)
	市循環バス、高速バス、観光バス、その他交通機能等との連携方策検討		
	P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街活性化支援事業		
		沖縄アリーナと商店街との連携	
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

④沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1~5年)	中期(5~10年)	長期(10年~)
f.まちの個性を生かしたにぎわいの創出			
商店街への誘客や交流促進 昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ))	商店街活性化支援事業 		

⑤ウォーカブルエリアの取り組み方のイメージ

- 住民が感じる魅力的なエリアを踏まえウォーカブルエリアを設定した。

全体(ウォーカブル区域)

コザゲート通り

取組案：歩きやすい空間整備

- アーチカンな通りとなるように統一された景観
- コザの音楽や歴史の継承
- 活用可能事業例：高質空間形成施設等（まちなかウォーカブル推進事業）
- 事例：道路空間再配分、歩道に芝生広場等滞留空間設置

(花園町通り／愛媛県松山市)
出典：ウォーカブルポータルサイト（国土交通省）

取組案：街路空間の利活用

- オープンテラス席等が多くありにぎやかな雰囲気（バスターミナルを拠点に歩き回りたくなる空間）
- 活用可能事業例：滞在環境整備事業（まちなかウォーカブル推進事業）等
- 事例：店舗前にオープンテラス設置

(SAGA ナイトテラスチャレンジ／佐賀県佐賀市)
出典：さがデザイン

取組案：地域住民主体の活動

- ゴミのポイ捨てをなくすため見まわり活動
- 夜間のゴミ収集等の美化活動

中央パークアベニュー

取組案：緑化空間の創出

- 花やみどりにあふれたひと中心の通り
- 活用可能事業例：高質空間形成施設（まちなかウォーカブル推進事業）等
- 事例：沿道緑化、舗装整備

(本通商店街／広島県福山市)
出典：ウォーカブルポータルサイト（国土交通省）

一番街商店街周辺

取組案：既存建築物の改修(リノベーション)

- 昔からある店舗と新たな店舗が融合した商店街
- 活用可能事業例：エリア価値向上整備事業等
- 事例：空き店舗を活用した交流スペース整備

取組案：空地（駐車場等）の利活用

- 住民の居場所づくり
- 活用可能事業例：暫定利用等
- 事例：ウッドテッキや緑化が設置された暫定的な屋外広場

(もぶるテラス／愛媛県松山市)
出典：全国まちなかひろば研究会

(新栄テラス／福井県福井市)
出典：空き地等の新たな活用～空き地等の利活用に関する先進的取組～（国土交通省）

取組案：休憩場所の創出

- 人々が滞留する空間（待ち合わせ場所等）
- 活用可能事業例：滞在環境整備事業（まちなかウォーカブル推進事業）等
- 事例：路上停車帯にパークレット整備

取組案：案内板・情報版の設置

- わかりやすい案内整備
- 活用可能事業例：地域生活基盤施設（まちなかウォーカブル推進事業）等
- 事例：デジタルサイネージ

取組案：シェアサイクル等の導入

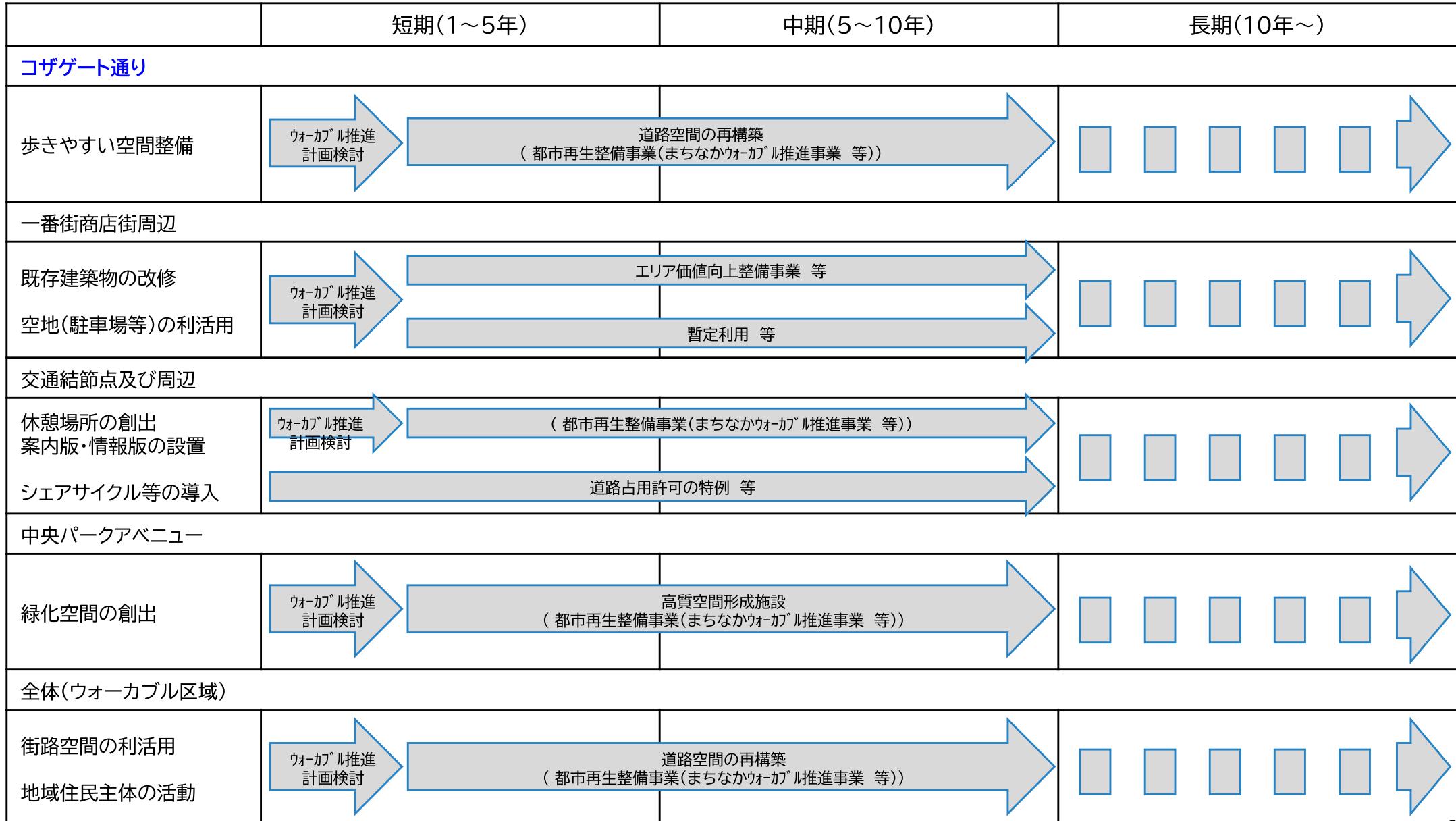
- バスターミナルを拠点にした回遊性の促進
- 活用可能事業例：道路占用許可の特例等
- 事例：道路占用許可制度によるシェアサイクルポートの設置

(元町パークレット／神奈川県横浜市)
出典：ウォーカブルポータルサイト（国土交通省）

(愛知県名古屋市)
出典：Nagoya まちなかウォーカブル戦

⑤ウォーカブルエリアの取り組み方のイメージ

※役割分担は今後の検討課題



5 まちづくりから考える交通結節点に必要な機能 沖縄市

- 沖縄市は、交通ターミナル・道路・まちのつながりに配慮し、歩行者、自動車等交通、利用者サービスの空間のバランスに留意し、最適な空間づくりを検討を行う。
- 交通空間は、交通の需要動向、他拠点との接続性、まちづくりの拡張性など、まちの活力を創出するための拠点づくりとなる役割を踏まえ、必要な機能の検討を行う。

交通機能

【必要機能（骨子案）】

① 利用者の利便性を高める環境の構築

例) バス乗降施設、待合施設、多様な支払い決済施設・設備、トイレ・授乳施設、ユニバーサルデザイン、タクシー乗降施設、シェアリングモビリティ、P&R施設・自家用送迎乗降施設等



待合空間



トイレ



電動キックボード

② 公共交通事業の維持確保につながる環境の構築

例) 運転手の休憩施設、操車場、停留場、連節バス、EVバス等



停留所



充電設備

交流等機能

【必要機能（骨子案）】

③ 周遊促進や中心市街地への誘導による、地域の賑わいの創出

例) ウォーカブルな道路空間、サイン等



歩行者空間



情報案内版

④ 都市の拠点としての空間やチャンブルー文化を活かした交流・支援活動の創出

例) 景観デザイン、観光バス乗降施設、広場、まちづくり拠点、案内施設等



駅前広場



案内施設

防災機能

【必要機能（骨子案）】

⑤ 防災機能の強化

例) 災害対応車両の駐車施設、無電柱化、情報発信施設、非常用電源等



災害対応車両



無電柱化前

無電柱化後

5 まちづくりから考える交通結節点に必要な機能 沖縄市

①まちづくりから考える交通機能

- 胡屋交通結節点の交通機能は、単なる乗降場ではなく、まちづくりの核としての役割を担います。那覇・うるまを結ぶ基幹バス、市内循環や他市町村との接続強化による夜間バス、アリーナシャトル、観光バスなど多様な移動を支えることで、住民の日常と観光・イベントをつなぐ拠点となります。
- また、上下線を結ぶ空間を交流や案内の場として活かし、ゲート通りやくすの木通りとの連続性を高めることで、まちの活力を生み出す交通拠点にふさわしい歩行者空間と賑わいを創出します。交通を「地域体験」として設計することにより、利便性と魅力を両立したまちの顔を形成することが必要です。

機能	内容	まちづくり的意義	基本計画
基幹バスとの連携	<ul style="list-style-type: none">那覇向け、うるま市向けを分離配置。基幹バス路線網との交通結節点に位置付け	<ul style="list-style-type: none">沖縄本島東西軸の要衝として、広域移動と市内生活をつなぐ都市拠点の核となる	繋がる往来
路線バス、市内循環・夜間・シャトルバス対応	<ul style="list-style-type: none">路線バス、循環バス、夜間バス、シャトルバスなど多様な市内外交通への対応	<ul style="list-style-type: none">市民の生活利便性を高めるとともに、夜間経済やアリーナ来訪者の回遊を支援	まちを巡る
施設間を円滑に繋ぐ	<ul style="list-style-type: none">施設間を円滑に繋ぐ機能	<ul style="list-style-type: none">単なる移動動線にとどまらず、人が集い滞在する公共広場として都市活力を生む	コザらしさを育む
多様な移動手段への対応	<ul style="list-style-type: none">自転車、タクシー、シェアモビリティ、徒步などとの円滑な接続	<ul style="list-style-type: none">交通の多様化に対応し、環境負荷低減や多世代利用を促進する柔軟な都市交通拠点	まちを巡る
観光バス対応	<ul style="list-style-type: none">一時待機・乗降スペース整備。観光客への案内・動線の確保	<ul style="list-style-type: none">観光客の快適な来訪を支え、商店街や文化施設への誘導による地域経済活性化を促進	繋がる往来
歩行回遊性の確保	<ul style="list-style-type: none">南北（ゲート通り）・東西（くすの木通り）軸やパークアベニュー通り等と連携し、回遊性を強化	<ul style="list-style-type: none">都市軸をつなぐ交点として、回遊性とぎわいを創出する「まちの玄関口」を形成	繋がる往来

5 まちづくりから考える交通結節点に必要な機能 沖縄市

②まちづくりから考える交流等機能

- 胡屋交通結節点の交流等機能は、音楽や舞台芸術など地域文化を発信する場であると同時に、商店街や観光資源と連動した賑わいを創出する拠点であることが必要とされています。
- 市民や学術団体をはじめとする様々なプレイヤーが関わる運営や、子育て・高齢者にも配慮した居場所づくりにより、多世代に親しまれる公共空間を形成することが必要とされています。
- 地域デザイン部会におけるデザインコードなどを踏まえた景観形成の取組みも踏まえつつ、交通結節点にふさわしいまちの顔をつくることが求められます。

機能	内容	まちづくり的意義	基本計画
歩行回遊性の確保	<ul style="list-style-type: none">南北(ゲート通り)・東西(くすの木通り)軸やパークアベニュー通り等と連携し、回遊性を強化	<ul style="list-style-type: none">都市軸をつなぐ交点として、回遊性とにぎわいを創出する「まちの玄関口」を形成	繋がる往来
多様な文化との連携発信機能	<ul style="list-style-type: none">ミュージックタウン等と連携し、野外演奏やストリートライブなどの展開の場地域文化を発信する小劇場的空間などの要素を取り入れるなど、多様な表現活動を支援の場他多様な地域資源の案内・発信	<ul style="list-style-type: none">胡屋らしい音楽文化を可視化し、若者や来訪者を巻き込んだにぎわいと地域アイデンティティを強化音楽に加え多様な文化芸術を発信することで、地域全体の文化厚みと交流の幅を広げる観光客の理解と回遊を促し、地元商店街や文化施設との接点を強化	繋がる往来
市民参加、教育・研究機関連携機能	<ul style="list-style-type: none">市民や団体が参画する運営体制学術団体等と連携し、社会実験や調査研究、空間運用の実践を展開	<ul style="list-style-type: none">公共空間を「地域のまちづくり」や「学びと実践の場」として位置づけ、次世代人材や知的資源を地域に循環	コザらしさを育む
スポーツ交流機能	<ul style="list-style-type: none">アリーナ・運動公園と連携し、試合・イベント来訪者の交流や体験の場を提供	<ul style="list-style-type: none">スポーツ観戦やイベントを契機に人の流れを生み、地域全体の賑わいにつなげる	コザらしさを育む
子育て・家族対応機能	<ul style="list-style-type: none">子育て対応、親子で安心して利用できる環境整備	<ul style="list-style-type: none">子育て世代が安心して滞在できる環境を整えることで、多世代が集う持続的な公共空間を形成	コザらしさを育む
景観形成機能	<ul style="list-style-type: none">都市軸の玄関口としての象徴性と商店街との連続性。「コザらしさ」を反映した景観形成	<ul style="list-style-type: none">「コザらしさ」を取り入れた景観により、地域らしさと都市的魅力を両立させる	まちの顔

5 まちづくりから考える交通結節点に必要な機能 沖縄市

③まちづくりから考える防災機能

- 胡屋交通結節点の防災機能は、災害対応にとどまらず、まちづくりの基盤として重要です。老朽建物が多い商店街周辺に安全な一次滞在空間を確保することで、日常の安心感を高め、地域居住や来街の促進につながります。
- また、平常時は広場や交流空間として活用し、非常時には物資集積や仮設施設へ転用できる多目的性を持たせることで、公共空間の価値を最大化します。
- さらに、電力や通信などの防災インフラを備え、公民館や防災会と連携した訓練・啓発を重ねることで、地域の共助体制を育み、持続可能なまちづくりを支える拠点となります。

機能	内容	まちづくり的意義	基本計画
一次滞在機能の確保	<ul style="list-style-type: none">商店街など老朽建物密集地に隣接する広場を避難場所として整備	<ul style="list-style-type: none">日常的な安心感を提供し、来街や居住継続を支える	安心を紡ぐ
空間の防災活用	<ul style="list-style-type: none">平常時は交流・賑わい空間、非常時は物資集積に転用可能	<ul style="list-style-type: none">公共空間の二重利用により、維持管理コストを軽減し活用度を高める	安心を紡ぐ
防災インフラ整備	<ul style="list-style-type: none">太陽光発電、蓄電池、非常用照明、Wi-Fi、掲示板、仮設トイレ等	<ul style="list-style-type: none">日常的には快適性・利便性を提供し、災害時は即応可能	安心を紡ぐ
地域連携・訓練体制	<ul style="list-style-type: none">公民館・防災会・地域団体と協働した避難訓練や啓発活動	<ul style="list-style-type: none">コミュニティの結束を強化し、共助型まちづくりを推進	安心を紡ぐ
建物倒壊リスク対応	<ul style="list-style-type: none">老朽化建物の多いエリアの安全確保を踏まえた空間整備	<ul style="list-style-type: none">商店街再生や都市更新と一体的に進めることで、災害に強いまちづくりを促進	安心を紡ぐ

■ 胡屋地区交通結節点整備検討委員会・公共交通活性化推進協議会との連携・役割分担

